CyberLink

PowerDirector 7





All rights reserved. CyberLink Corporation の文書による許可なく本書の一部あ るいは全部を作り変えたり、検索システムに保存したり、あるいは電子的、 機械的、フォトコピー、記録的方法を含め、いかなる方法においても転送す ることを禁止します。

法律の認める範囲において、POWERDIRECTOR は情報、サービス、または POWERDIRECTOR に関連して提供される製品についていかなる保証も行わ ないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵 害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の 有無に関わらずいかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様は CYBERLINK がこのソフト ウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、 間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみな されます。

ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

PowerDirector は本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic, MLP Lossless, The "AAC" logo, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992–2004 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS, DTS Digital Surround, ES, and Neo:6 are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地	CyberLink Corporation 15F, #100, Minchiuan Road, Shindian City Taipei 231, Taiwan
Web サイト	www.cyberlink.com
電話	886-2-8667-1298
Fax	886-2-8667-1300

Copyright © 2008 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

はじめに	1
はじめに	2
最新機能	2
DirectorZone	4
PowerDirector のバージョン	4
PowerDirector プログラム	5
PowerDirector のモード	6
PowerDirector プロジェクト	7
作成手順	8
システム動作環境	9

作成の準備	11
素材の読み込み	12
素材のインポート	12
素材のキャプチャ	15
キャプチャモード	16
キャプチャオプション	17
DV カメラからのキャプチャ	18
HDV(ハイビジョン)カメラからのキャプチャ(取り	込み)20
TV からのキャプチャ (取り込み、録画)	20
デジタル TV からのキャプチャ	20
PC カメラからのキャプチャ	20
マイクからのキャプチャ (録音)	21
CD からの音楽のキャプチャ	21
DVD からのキャプチャ	21

シーンの検出と音声の抽出	22
ビデオクリップのシーン検出	22
ビデオクリップから音声を抽出	23
PowerDirector 環境設定	24
ファイル環境設定	24
全般環境設定	25
編集環境の設定	27
確認メッセージの環境設定	28
キャプチャ環境設定	28
出力の環境設定	
DirectorZone の環境設定	

ストーリーの作成	
編集ウィンドウの概要	
プロジェクトの縦横比の設定	32
ライブラリウィンドウ	33
作業領域	
作業領域に素材を追加	41
Magic Movie ウィザード	41
スライドショー デザイナー	42
ビデオ、写真、音声を作業領域に追加する	45
ビデオエフェクト、オブジェクト、タイトル、	およびトランジ
ションの追加	47
作品のプレビュー	51
プレビューウィンドウ	51
素材ビューア	52
素材の編集	53
クリップの分割	53
ビデオと音声クリップのトリミング	53
クリップ表示時間の設定	54
素材クリップ全体のミュート	55

ビデオクリップ速度の変更	55
フレーム固定エフェクト	56
時間情報	56
ビデオクリップインターレース形式の設定	56
ビデオクリップの縦横比の調整	57
Magic Tools の使用	58
Magic Movie ウィザード	59
Magic Clean	59
Magic Motion	59
Magic Cut	60
Magic Fix	60
Magic Style	60
Magic Music	61
エフェクトの修正	62
エフェクトの修正	62
オブジェクトの修正	62
PiP エフェクト /PiP オブジェクトの修正	63
タイトルエフェクトの修正	67
音声のミキシング(調整)と吹き替え	72
ビデオクリップから音声を分離	72
音声クリップの音量レベル変更	72
吹き替えの録音	75
チャプター	77
チャプターの設定	77
字幕	79
字幕の挿入	79
字幕の編集	80
テキストファイルから字幕をインポート	80
字幕と会話の同期	80

ムービーの出力	83
SVRT 情報の表示	84
出力モード	85
出力ウィザード	85
ファイルの出力	88
ビデオファイルのプロファイルの作成 / 修正	88
ビデオファイルの作成	89
ストリーミングファイルの出力	90
ストリーミングファイル設定の作成 / 修正	90
ストリーミングファイルの作成	91
DV テープまたは HDV テープに書き込む	92
HDD ビデオカメラに書き込む	
ビデオのアップロード	94
YouTube への動画のアップロード	94
バッチ出力	95

ディスクの作成	97
ディスクの作成モード	
ディスクメニュー	
テンプレートの選択	
ディスクメニューのカスタマイズ	
ディスクのメニューページのプレビュー	
ディスク作成環境の設定	
ディスク書込み	
ムービーをディスクに書込む	
書き込み環境の設定	
DVD フォルダの作成	
ディスクの消去	

付録	113
ホットキー	
システムのホットキー	
プロジェクトのホットキー	114
作業領域のホットキー	
メニューのホットキー	
スマートガイド ホットキー	
メインパネルのホットキー	117
ライブラリのホットキー	
キャプチャのホットキー	
吹き替えホットキー	
プレビューウィンドウのホットキー	
タイトルデザイナのホットキー	
PiP デザイナのホットキー	
SVRT: が適用される条件	
ライセンスと著作権	
Dolby Laboratories	

テクニカルサポート	125
テクニカルサポートにお問い合わせになる前に	
Web サポート	

索引	129
----	-----

CyberLink PowerDirector

第1章:

はじめに

この章では、CyberLink PowerDirector とデジタルビデオの作成手順の概要を 紹介します。デジタルムービー作成過程で使用するさまざまな技術と CyberLink PowerDirector の適切な動作環境について説明します。

この章の構成は以下のとおりです。

- 2ページの「はじめに」
- ・ 5ページの「PowerDirector プログラム」
- 8ページの「作成手順」
- 9ページの「システム動作環境」

はじめに

CyberLink のデジタルビデオ編集ツール PowerDirector をお使いいた だき、ありがとうございます。CyberLink PowerDirector を使えば、 BGM、吹き替え、特殊効果、およびトランジション効果などを盛り 込んだプロ並みのビデオムービーや写真スライドショーを作ること ができます。

動画編集やスライドショー作成の経験がなくても心配いりません。 CyberLink PowerDirector の操作は簡単なので、少し練習すればハリ ウッド映画のような動画が作れます。編集したムービーやスライド ショーは、メール送信やディスクへの書込み、さらにはアップロー ドしてインターネットで公開することもできます。

最新機能

ここでは CyberLink PowerDirector に搭載されている新機能を紹介します。

ライブラリ

- 写真 / 音声のダウンロード:
 - Flickr または Freesound のメディアを直接検索してライブラ リにインポートします。
- ライブラリツールの管理:
 - メディアライブラリにサブフォルダを作成してメディアを 整理する、またはライブラリ全体を別ファイルに保存しま す。
- 作成メディアのダウンロードと共有:
 - カスタマイズした PiP オブジェクトやタイトルエフェクト を DirectorZone にアップロードして他の人と共有します。 DirectorZone からメディアをダウンロードしてライブラリ に追加することもできます。

編集

スライドショーデザイナーの強化:

- 新しいスライドショースタイルをたくさん追加しました。
- BGM にスライドショーを同期させるなど、さまざまなスラ イドショーのコントロールが強化されています。
- マジックツールの強化:
 - 新しい Magic Clean 機能でビデオの明るさの調節機能が強 化されました。
 - Magic Motion の写真拡縮機能でさらに細かいフレームコン トロールができるようになりました。
 - ・ クロマキー効果が改善されました。
- マルチ PiP トラック:
 - トラックマネージャで PiP トラックをタイムラインに追加 できるため、同時に最大6つの PiP オブジェクトを表示で きるようになりました。
- フレーム固定:
 - 即座にフレーム固定エフェクトを追加してビデオの瞬間を 逃がしません。
- 字幕:
 - 市販のディスクのようにオン / オフできる字幕をディスク に追加できます。
- 出力
 - HDD ビデオカメラへの書き込み:
 - ハードディスクのビデオカメラに書込み可能なファイルを 出力します。
- ディスクメニューの作成
 - メニュー作成の強化:
 - マルチレイヤーのメニューや使いやすいパワフルなメ ニューデザイン機能が追加されました。
 - ・ 作成ディスクメニューのダウンロードと共有:
 - カスタマイズしたディスクメニューを DirectorZone にアッ プロードして他人と共有できます。DirectorZone のホーム ページからディスクメニューをダウンロードして追加する こともできます。

DirectorZone

DirectorZone は、CyberLink PowerDirector の他のユーザーが作成した PiP オブジェクト、タイトルテンプレート、ディスクメニューなどが ダウンロードできるオンラインサービスです。自分で作成した作品 を DirectorZone にアップロードして共有することもできます。

DirectorZone を利用するには、CyberLink PowerDirector ウィンドウの 上部にある [DirectorZone ユーザー登録] リンクをクリックします。 DirectorZone ホームページの機能や利用できるサービスに関する詳 細は、http://directorzone.cyberlink.com をご覧ください。

PowerDirector のバージョン

CyberLink PowerDirector には、複数のバンドル(OEM)版とパッケージ版があります。対応ファイル形式、編集機能、ディスク作成機能、およびその他の機能は使用するバージョンによって異なります。ご使用のバージョンで使用可能な機能については、CyberLink PowerDirector 付属の Readme ファイルを参照してください。

ソフトウェアのアップグレード

CyberLink では、定期的にソフトウェアのアップグレードを提供して います。ソフトウェアをアップグレードするには、CyberLink PowerDirector バージョン情報ウィンドウの [**アップグレード**]ボタ ンをクリックします。[アップグレード]ウィンドウが開き、 CyberLink PowerDirector の新しいアップグレードやアップデートを選 択してダウンロードすることができます。アップグレードを購入す る場合は CyberLink のサイバーストアが開きます。

注: この機能を使用するには、インターネットに接続している必要があ ります。

PowerDirector プログラム

CyberLink PowerDirector を起動すると、次の画面が表示されます。

編集機能ボタン

各編集機能ごとに割り当てら れた編集ウィンドウを表示し ます

ライブラリウィンドウ

メディアコンテンツ、特殊効果、トラン ジション、その他編集ツールで構成され ています



します

PowerDirector のモード

CyberLink PowerDirector には、キャプチャ、編集、出力、ディスクの 作成などのタスクを行う別々のモードがあります。

τ −β	詳細
キャプチャ	さまざまな形式やソースからメディアを キャプ チャ(取り込む) します。15 ページの「素材の キャプチャ」を参照してください。
編集	タイムラインにビデオや写真を追加して、トラン ジション、エフェクト、タイトルなどを追加する 編集 作業を行います。31 ページの「ストーリーの 作成」を参照してください。
出力	ファイル、DV テープへの出力、インターネットへ のアップロードなど作品の 出力 を行います。83 ページの「ムービーの出力」を参照してください。
ディスク作 成	ディスク作成 を使うと、ディスクに書込み可能な カスタムディスクやメニューを作成します。97 ページの「ディスクの作成」を参照してください。

CyberLink PowerDirector は編集モード(デフォルト)で開きます。以下のボタンを使うと簡単に編集とタスク実行モードが切り換えられます。

PowerDirector プロジェクト

CyberLink PowerDirector でビデオクリップ、音声ファイル、または写 真を加工しても、元のメディアには**影響しません**。設定はすべてプ ロジェクトファイルに保存されているため、CyberLink PowerDirector でクリップをトリミング、編集、削除しても、ハードディスクに保 存されているオリジナルのファイルは変わりません。つまり、いつ でもやり直しが可能なため、安心して編集作業を進めることができ ます。編集しすぎてしまっても、はじめからやり直せます。

CyberLink PowerDirector プロジェクトファイルは、Windows のファ イルと同じように開いたり保存したりすることができます。プロ ジェクトファイルは、CyberLink PowerDirector プログラム固有の.pds 形式で保存されます。

作成手順

デジタル編集は、素材動画の準備から始まり、不要な部分のカット と結合、字幕を付けたり、特殊効果を適用した後、完成した動画を 保存する、という手順で行います。CyberLink PowerDirector は、ムー ビーやスライドショーの作成やその公開などの作業を簡単に行えま す。

目的に合わせて、以下の機能を利用できます。

- ・ 作成の準備
 - 素材のインポート
 - 素材のキャプチャ(取り込み)
 - ・ シーンの検出と音声の抽出
- ・ ストーリー構成の作成
 - 素材を作業領域に追加
 - エフェクト、トランジション、タイトルの追加
 - ・ ビデオの編集と仕上げ
 - ・ 写真の修正
 - ・ マジックツールの使用とエフェクトの修正
 - 吹き替えの録音と音声のミキシング(調整)
 - ・ チャプタポイントの設定と字幕の挿入
- ・ 作品の保存とアップロード
 - ビデオファイルの出力
 - ストリーミングビデオファイルの出力
 - ・ DV/HDV テープまたは HDD ビデオカメラの書込み
 - ・ インターネットへのアップロード
- ・ ディスクのファイナライズ
 - ディスクメニューの作成
 - ディスクの書込み

システム動作環境

以下のシステム動作環境は、一般的なデジタル動画編集作業を行う 場合の最小条件です。

画面解像度:

1024 x 768、16 ビットカラー以上

OS :

Windows Vista/XP (HDV キャプチャには Windows XP Service Pack 2 が必要)

メモリ:

- ・ 512 MB 推奨
- HDビデオ編集には 2GB DDR2 以上を推奨

CPU :

- ・ AVI キャプチャ / 出力 :Pentium II 450 MHz または AMD Athlon 500 MHz
- ・ VCD 画質 (MPEG-1) プロファイル :Pentium III 600 MHz または AMD Athlon 700 MHz
- ・ DVD 画質 (MPEG-2) プロファイル :Pentium 4 2.2 GHz または AMD Athlon XP 2200+
- 高画質 (MPEG-4 および WMV、QuickTime、RealVideo のスト リーミング) プロファイル :Pentium 4 2.4 GHz または AMD Athlon XP 2400+
- ・ AVCHD および MPEG-2 HD (BD 書込み用) プロファイル :Pentium Core 2 Duo E6300 または Athlon 64 X2 5000+

ビデオキャプチャ デバイス:

- ・ WDM 規格準拠の PCI または USB1.0/2.0 キャプチャデバイス (PC カメラや WDM ドライバー対応 TV チューナーなど)
- OHCI 対応 IEEE1394 接続 DV カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照)

- USB2.0 接続の DVD カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照)
- Sony MicroMV/AVCHD/HDV カメラ(対応モデルは CyberLink ホームページを参照)
- JVC Everio カメラ (対応モデルは CyberLink ホームページを参照)
- ハードディスク容量:
 - ・ 最小 5 GB (SmartSound Quicktrack Library には 400MB が必要で す)
 - ・ DVD 出力には 10GB (推奨 20 GB) 必要
 - BD/AVCHD 出力には 60GB (推奨 100GB) が必要

書込みデバイス:

- CD または DVD 書込み装置 (CD-R/RW、DVD+R/RW、DVD 乏 / RW など)には VCD/DVD/SVCD/AVCHD のタイトルの書込みが必 要です。
- ブルーレイディスク書込みドライブには、BD タイトルの書込 みが必要です。

マイク:

- ・ 吹き替え録音にはマイクが必要です。
- 注: 最新のシステム動作環境については、CyberLinkのホームページ (http://jp.cyberlink.com/)を参照してください。

第2章:

作成の準備

この章では、素材のメディアライブラリへのインポート、CyberLink PowerDirector を使った素材のキャプチャ(取り込み)、CyberLink PowerDirectorの環境設定など、作成の準備に必要な作業について説明しま す。

この章は以下の内容を説明しています。

- ・ 12ページの「素材の読み込み」
- ・ 15ページの「素材のキャプチャ」
- ・ 22ページの「シーンの検出と音声の抽出」
- ・ 24 ページの「PowerDirector 環境設定」

素材の読み込み

作品に使用するビデオファイル、BGM、写真がハードディスクに保存されている場合は、CyberLink PowerDirectorのメディアライブラリに直接読み込むことができます。

CyberLink PowerDirector では、以下のファイル形式がインポート可能です。

画像:JPEG、TIFF、BMP、GIF、PNG

ビデオ:DV-AVI、Windows-AVI、DAT、MPEG-1、MPEG-2、DVR-MS、 VOB、VRO、WMV、MOV、MOD、TOD、MP4、MTS、M2TS

音声:MP3、WAV、WMA、ASF

素材を**メディアライブラリ**にインポートする場合は、次の2つのオ プションがあります。

- 素材ファイルを個別にインポート
- プロジェクトに使用する素材ファイルを含むフォルダをイン ポート

素材のインポート

プロジェクトの素材が足りない、または特定の素材を探している場合は、Flickrで写真を Freesound で音声を直接 CyberLink PowerDirector に検索、ダウンロード、インポートすることができます。

Flickr から写真をダウンロード

自分の写真を Flickr のアカウントから直接 CyberLink PowerDirector に ダウンロードできます。CyberLink PowerDirector の他のユーザーが作 成した写真を検索および表示してプロジェクトのメディアライブラ リにインポートすることもできます。

Flickr から写真をダウンロードするには、次の操作を行います。

- ダウンロードメニュー ()・で Flickr からインポート を選択し ます。
- ウィザードの指示に従い CyberLink PowerDirector で Flickr アカ ウントを使うための認証と利用規約の合意を行います。
- 注: Flickr で写真を検索、表示、ダウンロードするために Flickr のアカウ ントを持つ必要はありません。
 - ドロップダウンから検索する場所を以下のいずれかに選択し ます。
 - Flickrのマイフォト: このオプションは、Flickr アカウントに アップロードしたすべての写真をサムネールで表示します。
 - 連絡先の写真:このオプションは、FlickrのFlick連絡先にアップロードしたすべての写真をサムネールで表示します。
 - Flickr の写真検索: このオプションは Flickr の写真を検索する ときに選択します。一般的な検索タグ ★◆、国検索 ●
 キーワード検索 Aマ を使って検索できます。
- 注: 検索ウィンドウの上部にあるフィルタメニューのドロップダウンを 使うと写真の並べ替えができます。
 - メディアライブラリにインポートする写真をすべて選択した
 ら、[ダウンロード]ボタンをクリックします。
- 注: メディアライブラリにダウンロードした写真は、商業利用できません。写真サムネイル下のボタンをクリックすると著作権情報が表示されます。

Freesound の音声をダウンロード

サウンドエフェクトや音楽クリップなどの音声サンプルを Freesound サービスから CyberLink PowerDirector にダウンロードでき ます。

AudioCD から音声クリップをダウンロードするには、次の操作を行います。

- ダウンロードメニュー ()・で Freesound からインポート を選 択します。
- ウィザードの指示に従って、Freesound にサインインしてから 利用規約に合意します。
- 3. 検索ウィンドウで、人気ジャンル
 ・
 ・
 またはキーワード

 AQ
 で音声クリップを検索します。
- 注: 検索を実行する前に、チェックボックスを使って検索キーワードを 絞り込みます。
 - メディアライブラリにインポートする音声をすべて選択した
 ら、[ダウンロード]ボタンをクリックします。
- 注: メディアライブラリにダウンロードした音声は、商業利用できません。音声サムネイル下のボタンをクリックすると著作権情報が表示されます。

DirectorZone のテンプレートをダウンロード

ライブラリに PiP オブジェクトやタイトルエフェクトを追加したい 場合は、DirectorZone ホームページの PiP オブジェクトパレットやタ イトルエフェクトパレットのをクリックして () ダウンロードする ことができます。

CyberLink または他の CyberLink PowerDirector ユーザーが作成し、 DirectorZone にアップロードしたテンプレートをダウンロードして 追加できます。

素材のキャプチャ

この章では、CyberLink PowerDirector で使用する素材の取り込み方 法について説明します。動画や音声をさまざまなソースから取り込 み、直接ライブラリに保存することができます。

キャプチャモード

[**キャプチャ**]ボタンをクリックすると、キャプチャモードに切り換わります。キャプチャモードの画面は、次のように表示されます。

キャプチャデバイス(入力機器) 選択領域 入力機器を切り換えます。 **クリップキャプチャ領域** キャプチャしたクリップ素材を 表示します。



キャプチャプレビューウィンド ウ キャプチャ中にクリップ素材を 表示します。

キャプチャしたファイルのサイズ やハードディスク空き容量を表示 します。

注: キャプチャを行う前に、作業方法に適したキャプチャ環境を設定し て下さい。詳しくは、28ページの「キャプチャ環境設定」を参照し てください。

キャプチャオプション

以下のファイル形式のビデオクリップをキャプチャできます。

- MPEG-1
- MPEG-2
- MPEG-4
- AVI

取り込み機能の設定の多くは他のキャプチャモードと共有されます が、一部、異なる場合があります。

注: CyberLink PowerDirector のキャプチャ機能は、バージョンにより異な ります。ご使用のバージョンで使用できる機能については、Readme ファイルを参照してください。

キャプチャ制限オプション

CyberLink PowerDirector がキャプチャするビデオのサイズや録画時間の制限を設定します。上限に達すると、キャプチャは自動的に停止します。



- 最大録画時間を設定するには、[時間制限]を選択して、タイムコードボックスに制限時間を入力します。
- 最大キャプチャサイズを設定するには、[サイズ制限]を選択して、制限サイズを MB 単位で入力します。

テキストマーク、録画日、時刻コードをキャプチャしたビデオに追加するには、 をクリックします。

注: CyberLink PowerDirector が DV/HDV ビデオ対応の RichVideo でコンテ ンツをキャプチャする場合、時間コードは自動的にキャプチャされ ます。ビデオクリップをタイムラインに置いたときに、[時間情報] ボタンでその時間コードを使うことができます。詳しくは、56 ペー ジの「時間情報」を参照してください。

ビデオフレームから静止画を採取してプロジェクトに使うには、ス ナップショットを撮る個所で
の をクリックすると画像ファイル がメディアライブラリに保存されます。

注: 取り込まれた静止画ファイルのファイル形式は、環境設定で指定す ることができます。詳細については、24ページの「ファイル環境設 定」を参照してください。

DV カメラからのキャプチャ

- ビデオファンに人気の高い DV カメラはデジタル形式で録画 するため、コンピュータにデジタルで転送することができま す。さまざまな録画機能も使えます。DV カメラからの取り 込みは、シーンひとつづつでも、シーンをまとめて一括でも 行うことができます。
- 注: DV カメラを USB でコンピュータに接続する場合は、ビデオカメラが 直接ハードドライブに接続されている場合と同様に直接ビデオファ イルをインポートします。12 ページの「素材の読み込み」ビデオ ファイルのインポートについては、を参照してください。

シーンのキャプチャ

ビデオカメラから1つのーシーンを取り込むことができます。この 機能は、長時間のビデオ全体をスキップなしで取り込みたい場合に、 特に便利です。

DV バックアップ

注: この機能には、DVD 書き込みドライブが必要です。

DV カメラからのバッチキャプチャ(一括取り込み)

バッチキャプチャは難しく思えますが、非常に便利な機能で、操作 も簡単です。複数の動画アイテムを自動的に取り込むことができる ため、作業にかかる時間を短縮できます。数分をかけてバッチキャ プチャの操作を覚えれば、カメラからビデオを取り込む際の時間を 節約できます。CyberLink PowerDirector は DV カメラでインターバル を検索し(マニュアルでの設定も可能)、それらを使用してバッチで 取り込みます。

自動バッチキャプチャ

手動一括取り込み

手動一括取り込み では、より詳細な設定が行えるので、取り 込みたいシーンを確実に取り込むことができます。取り込みたい シーンが明確で、そのテープ上の位置が分かっている場合は、手動 一括取り込みを使います。

HDV(ハイビジョン)カメラからのキャ プチャ(取り込み)

- HDV(ハイビジョン)カメラは高画質デジタル形式で録画す HD 1 るため、コンピュータで使用する際に変換する必要がありま せん。また、高度な録画オプションを備えたカメラもありま す。HDV カメラから CyberLink PowerDirector に映像を取り込 むことが可能です。
- 注: HDV カメラを USB でコンピュータに接続する場合は、ビデオカメラ が直接ハードドライブに接続されている場合と同様に直接ビデオ ファイルをインポートします。12ページの「素材の読み込み」ビデ オファイルのインポートについては、を参照してください。

TV からのキャプチャ(取り込み、録画)

お気に入りの TV 番組のシーンを作成ムービーに挿入したり、 録画することができます。

デジタル TV からのキャプチャ

______ お気に入りのデジタル放送 TV 番組のシーンを作成ムービー [1] に挿入したり、録画することができます。

PC カメラからのキャプチャ



PC カメラ (ウェブカメラ)は、シンプルな映像を取り込むの に便利で安価なハンディカメラです。

マイクからのキャプチャ(録音)



映像に音声を加えたい場合があります。録音する音声トラックの種類に関わらず、マイクを使って音声を CyberLink PowerDirector のプロジェクトにキャプチャできます。

CD からの音楽のキャプチャ



お気に入りの音楽を使って、本当に面白い、個人的なムー ビーを作成できます。オーディオ CD から取り込んで、音声 トラックとして CyberLink PowerDirector プロジェクトに追加 できます。

DVD からのキャプチャ



DVD から映像シーン(音声も含む)を CyberLink PowerDirector プロジェクトに取り込むことができます。

注: ディスクによっては、取り込みできないようにコンテンツが保護されている場合があります。

シーンの検出と音声の抽出

CyberLink PowerDirector では編集作業をより簡単に行えるよう、ビデ オクリップのシーンの検出や、音声の抽出といった機能を備えてお り、新しいクリップをメディアライブラリで別表示することもでき ます。

ビデオクリップのシーン検出

シーンの検出機能は、ビデオクリップに含まれるさまざまなシーン を基に、個別クリップを自動生成する機能です。検出されたシーン は元の動画を変更することなく、他のクリップと同様、作業領域で さまざまな編集作業を行うことができます。また、これらのクリッ プは、元のビデオクリップを変更することなく、結合したり、完全 に削除したりできます。ビデオクリップのシーンは、キャプチャエ リアとメディアライブラリのどちらからでも検出できます。

注: ファイル形式によってクリップに対するシーン検索の精度が異なる 場合があります。その場合は、シーン検索ダイアログボックスで シーンを分割してください。

検出したシーンは、元のビデオクリップの下のサブフォルダに表示 されます。これらは、他のビデオクリップと同様に作業領域に追加 したり、メディアライブラリで管理することができます。

検出したシーンを含むビデオクリップは、メディアライブラリで表示すると、クリップの右下隅に小さなフォルダアイコンが示されます。クリップのシーンを表示するには、フォルダアイコンをクリックします。



ビデオクリップから音声を抽出

ビデオクリップの音声のみを取り込みたい場合、メディアファイル で音声を右クリックしてから[音声の読み込み]を選択してビデオ クリップから音声を抽出保存することができます。音声クリップは 動画から抽出され、他の音声ファイルと同じように扱うことができ ます。

PowerDirector 環境設定

CyberLink PowerDirector では、ユーザの作業方法に合わせたビデオ作 成環境を設定することができます。作品に取り掛かる前に、好みに 合わせて設定を行いましょう。作品に製作中に、必要に応じて設定 を変えることもできます。

ファイル環境設定

ファイルの環境設定を指定するには、 2 - [編集] > [環境設定]を クリックし、[環境設定]ダイアログボックスを開きます。環境設定 ダイアログボックスが開き、[ファイル]タブを表示します。以下の オプションが設定できます。

- インポート先:最後にメディアを CyberLink PowerDirector に インポートしたフォルダを表示します。このフォルダを変更 するには、[参照]をクリックして、新しいフォルダを選択し ます。
- エクスポート先: CyberLink PowerDirector が取り込んだ素材 ファイルを保存するフォルダをデフォルト設定します。この フォルダを変更するには、[参照]をクリックして、新しい フォルダを選択します。
- ファイル名(キャプチャ):取り込んだビデオファイルに付け るデフォルトの名前を入力します。CyberLink PowerDirector で はこの名前に連番を自動的に付加して、取り込んだ各ファイ ルに固有のファイル名を作成します。
- 常にファイル名の変更ダイアログを表示する: CyberLink PowerDirector がビデオクリップをキャプチャする都度ファイ ル名の入力を促すメッセージを表示させるには、このオプ ションを有効にします。
- ファイル名(出力): CyberLink PowerDirector で出力したファ イルに付けるデフォルトの名前を入力します。

- ファイル名 (スナップショット):取り込んだスナップショット(静止画)に付けるデフォルトの名前を入力します。 CyberLink PowerDirector ではこの名前に連番を自動的に付加して、取り込んだ各ファイルに固有のファイル名を作成します。 プルダウンメニューからスナップショットのファイル形式を 選択します。ファイル形式は、bmp、.jpg、.gif、.pngから選 択します。
- 常にファイル名の変更ダイアログを表示する:スナップ ショット(静止画)を作成するごとに、CyberLink PowerDirector ファイル名の入力を促すメッセージを表示させ るには、このオプション選択します。
- スナップショット保存先:取り込んだスナップショット(静止画)をファイルとして保存しない場合には、保存先をプル ダウンメニューから選択してください。
- 可能な限りマスタービデオのサイズを使用:スナップショット (静止画)を、取り込み時のプレビューウィンドウのサイズで はなく、オリジナルの動画のサイズで保存する場合に選択し ます。
- 最近使用したプロジェクトの数: CyberLink PowerDirectorの起動時に、[ファイル]メニューに表示される、最近使用したプロジェクトの数(0から20)を入力します。
- PowerDirector 起動時に自動的に最新のプロジェクトを開く
 :CyberLink PowerDirector の起動時に、最後に作業したファイルを開くには、このオプションを選択します。
- PowerDirector 起動時にサンプルクリップを自動的に開く
 :CyberLink PowerDirector 起動時にメディアライブラリでサンプ ルビデオファイルを開くときにこのオプションを選択します。

全般環境設定

ファイルの環境設定を指定するには、 1000 > [編集]> [環境設定]を クリックします。[環境設定]ダイアログボックスを開きます。[全 般]タブをクリックします。以下のオプションが設定できます。

- ・ 元に戻す回数:ムービー作成作業中に使用できる元に戻す機能(Ctrl+Z)の使用回数(0から100)を入力します。回数を増やすと、より多くのCPUのリソースを消費することになります。
- TV 信号形式:ムービーを作成する地域の TV 信号形式 (NTSC または PAL)を選択します。選択する信号形式は、(ディスク に書き込む場合)作成するムービーを再生する地域の TV 信号 形式と一致していなくてはなりません。
- アニメアイコンの使用: CyberLink PowerDirector でアニメアイ コンを使用する場合に選択します。
- タイムラインに音の波形を表示:ビデオクリップ、音楽クリップ、音声クリップの音声部分の音響レベルに対応するタイム ラインに波形を表示する場合に選択します。
- ファイル処理を高速化してハイビジョンビデオを編集する :CyberLink PowerDirector での高速ファイル処理を有効化して ハイビジョン映像の編集を高速化する場合に選択します。有 効にすると、より多くの CPU リソースを消費することになり ます。
- RichVideo 情報ファイルとして情報をファイルに追加する
 :CyberLink PowerDirector で RichVideo 情報を素材ファイルに追加するときに選択します。
- RichVideo 情報をオープンメディアダイアログで有効にする
 :CyberLink PowerDirector でメディアライブラリに素材をイン ポートするときに RichVideo 情報を表示するときに選択しま す。
- ソフトウェアの更新情報を自動チェックする: CyberLink
 PowerDirector で定期的に更新情報やバージョンを自動的に確認するときに選択します。
- システムのデフォルトの言語を使用:CyberLink PowerDirector の表示言語をコンピュータのオペレーティングシステムと同 じ言語にするときにこのオプションを選択します。
ユーザー定義: このオプションを選択してから CyberLink
 PowerDirector で使用する表示言語をドロップダウンリストから選択します。

編集環境の設定

編集の環境設定を指定するには、 See > [編集] > [環境設定]をクリックします。[環境設定]ダイアログボックスを開きます。[編集] タブをクリックします。以下のオプションが設定できます。

- デフォルトの作業領域: CyberLink PowerDirector でタイムラインまたはストーリーボード作業領域をデフォルトで表示するかどうかを選択します。
- ビデオトラックのコンテンツを追加 / 削除するときにすべてのトラックをリンクさせる:タイトル、ビデオエフェクト、 BGM、PiP クリップをビデオトラックにリンクします。このオプションを選択すると、ビデオトラックのビデオクリップを 移動する際に、これらのアイテムも一緒に移動します。このオプションを無効にすると、タイムラインのトラックを個別に操作できます。
- Magic Motion の使用時にトランジションを挿入する: Magic Motion ツールを使用してすべての写真に適用する際に前後の 写真の間にトランジションを追加する場合に選択します。
- フレーム固定使用時にエフェクトとタイトルを追加:CyberLink PowerDirector で [Freeze Frame] ボタンを押したときにタイムラ インにエフェクトやタイトルを自動追加するときに選択しま す。
- 録画時間:タイムラインでの静止画ファイルやさまざまな特 殊効果に対し、デフォルトの所要時間(秒単位)を設定しま す。
- プロジェクトの自動保存: CyberLink PowerDirector で作業中の プロジェクトを自動保存するときに選択します。保存の実行 間隔は指定することができます。これにより、停電やコン ピュータのクラッシュ、保存のし忘れによって作業結果が失 われるリスクを軽減することができます。

確認メッセージの環境設定

ファイルの環境設定を指定するには、 2 [編集]>[環境設定]を クリックします。[環境設定]ダイアログボックスを開きます。[確 認メッセージ]タブをクリックします。以下のオプションが設定で きます。

- TV 形式信号が一致しない場合、確認メッセージを表示する:
 このオプションをせんたくすると、作業領域のビデオクリップの TV 信号形式 (NTSC/PAL) と一致しないビデオクリップを作業領域に追加した場合に、警告メッセージが表示されます。
- ハードディスクのファイルを削除可能にする:メディアライブ ラリのファイルを削除する際にハードディスクからも削除し たい場合は、このオプションを選択します。
- 編集中にチャプタが削除されたら確認メッセージを表示する:
 このオプションを選択すると、ビデオ編集中にチャプタが削除された場合に警告メッセージを表示します。
- ワイド画面がサポートされていない場合は、常にダイアログを表示する:CyberLink PowerDirector でワイド画面をサポートしていない場合に警告メッセージを表示するときにこのオプションを選択します。

キャプチャ環境設定

キャプチャの環境設定を指定するには、 2000 > [編集]> [環境設定] をクリックします。環境設定ダイアログボックスが開いたら、[キャ プチャ] タブをクリックします。以下のオプションが設定できます。

- キャプチャしたファイル(素材)をライブラリに追加する:
 このオプションを選択すると、キャプチャ後、取り込みファイルをメディアライブラリに直接インポートします。
- キャプチャしたファイルを作業領域に追加する:このオプションを選択すると、キャプチャ後、取り込みファイルをタイムライン / ストリーボードに直接インポートします。
- キャプチャにオーバーレイを使用する:ビデオオーバーレイ に対応していない古い VGA カードを使用してる場合を除き、

キャプチャ中はこのオプションを有効にしておきます。(無効にすると、オーバーレイ未対応の表示エラーを避けることができます。)

- 吹き替え音声を自動的に置き換える:このオプションを選択 すると、録音中に吹き替えが重複する場合に新しい吹き替え 音声で上書きします。
- CyberLink MPEG@Best の使用:MPEG ビデオをキャプチャする 際に、処理速度と画質のバランスをとるときにこのオプショ ンを選択します。
- キャプチャ中にシーンの検出を行わない:キャプチャ中に シーン検出機能を作動させないときにこのオプションを選択 します。
- キャプチャ後、ビデオフレームの変更点でシーンを検出する: このオプションを選択すると、ビデオのキャプチャ中にシーンの検出を行います。シーンの検出では、CyberLink PowerDirectorが取り込んだフレームを比較して、シーンの変更箇所を識別します。各シーンは録画中に各シーンごとにファイルに保存されます。
- キャプチャ中にタイムコードでシーンを別ファイルで検出する(DV-VCR モードのみ): このオプションを選択すると、シーンのブレーク信号を検出し、各シーンを個別のファイルに保存します。(DV カメラは、ユーザが REC(録画)ボタンを放すと、テープ上にシーンブレーク信号を生成します。)この機能は DV カメラからのキャプチャの際にのみ使用できます。
- DV パラメータ:このボタンをクリックして DV カメラのバッファパラメータを設定します。バッファ時間を設定すると、DV カメラと DV バッチキャプチャまたは DV 書き込みデバイスを同時にスタートさせることができます。バッファを使わないと、一括取り込みやテープへの書き込みはカメラが動作する前にスタートします。

出力の環境設定

出力の環境設定を指定するには、 2 [編集]>[環境設定]をクリックします。環境設定ダイアログボックスが開いたら、[出力]タブをクリックします。以下のオプションが設定できます。

- 選択したトラックのみを出力:このオプションを選択すると、 タイムラインで選択したトラックのみを出力します。選択していないトラックは出力されません。
- 3D スライドショーの画質:作成した 3D スライドショービデオの画質を決めるときにこのスライダを使用します。画像の動きが遅いほどスライドショーの画質が上がります。 CyberLink PowerDirectorは、コンピュータの 3D グラフィックカード(インストールされている場合)を使用して作成時間を速めます。

DirectorZone の環境設定

出力の環境設定を指定するには、 2 [編集] > [環境設定] をク リックします。環境設定ダイアログボックスが開いたら、 [DirectorZone] タブをクリックします。以下のオプションが設定でき ます。

- PowerDirector 起動時に DirectorZone に自動サインインする: このオプションを選択してから電子メールアドレスおよびパスワードを入力してプログラムの起動時に CyberLink PowerDirector が自動的に DirectorZone にサインインするよう 指定します。DirectorZone のアカウントがない場合は、[アカウント取得]ボタンをクリックします。
- DirectorZone が編集情報を収集する:このオプションを選択 すると、DirectorZone で YouTube にアップロードされた完成 プロジェクトでしようしたテンプレートの名前すべてを収集 できます。

第3章:

ストーリーの作成

これまでの章でビデオ、写真、音声の準備ができました。この章では、準備した素材を使ってプロ級のビデオムービーやスライドショーを作成する 手順を詳しく説明します。また、プロジェクト情報の表示方法や制作中ムー ビーのプレビュー方法についても説明します。

この章は以下の内容を説明しています。

- ・ 32ページの「編集ウィンドウの概要」
- 41ページの「作業領域に素材を追加」
- 51ページの「作品のプレビュー」
- 53ページの「素材の編集」
- ・ 58 ページの「Magic Tools の使用」
- 62ページの「エフェクトの修正」
- 72ページの「音声のミキシング(調整)と吹き替え」
- ・ 77ページの「チャプター」
- 79ページの「字幕」

編集ウィンドウの概要

編集作業を始める前に、編集ウィンドウについて知ることが大切で す。ここでは、重要な特徴や機能について説明します。

プロジェクトの縦横比の設定

プロジェクトの作業を開始する前に、ムービーの縦横比を設定する 必要があります。デフォルトの縦横比は4:3です。ただし、ワイド 画面テレビで再生する場合は、縦横比を16:9に変更すると使用す るクリップもワイド画面形式になります。素材の縦横比を変更する 場合は、57ページの「ビデオクリップの縦横比の調整」を参照して ください。

プロジェクトの縦横比を設定するには、 2 > [編集] > [縦横比] > [4:3] または [16:9] をクリックします。選択した縦横比でプレビューウィンドウのサイズが変更されます。

注: アイテムをタイムライン / ストーリーボードに追加する前に、動画の 縦横比を設定することは重要です。後でプロジェクトの縦横比を変 更すると、プロジェクトを再起動する必要があります。

ライブラリウィンドウ

ライブラリウィンドウは、CyberLink PowerDirector の編集作業で使用 するすべての素材を管理する場所であり、以下のように表示されま す。ライブラリウィンドウに表示される素材は、選択した設定画面 により異なります。

ライブラリウィンドウは次のように表示されます。



ライブラリに表示されるパレットをコンテンツを切り替えるには、 ウィンドウ左側のボタンを使います。これらのボタンを以下に示し ます。



それぞれのボタンは編集機能ごとに割り当てられたパレットを表示 します。ライブラリはデフォルトで素材ウィンドウを表示します。 ボタンと機能は表示されるウィンドウに関係なくライブラリで共通 です。

素材パレット



素材パレットライブラリの管理

- ・ サブフォルダで素材を管理
- ・ ライブラリの素材をファイルに保存(再利用可能)

ライブラリの全コンテンツを消去

エフェクトパレット



エフェクトパレットには、プロジェクトのビデオまたは画像 クリップに適用可能な特殊効果のライブラリが含まれていま す。詳しくは、47ページの「ビデオエフェクトの追加」を参 照してください。

PiP オブジェクトパレット

PiP オブジェクトパレットには、ビデオや写真クリップに PiP トラックを挿入できる画像のライブラリが含まれています。 オブジェクトには次の3類があります。

- 静止画像
- クリップトを移動する画像
- クリップのフレームに追加可能な装飾境界線

插入したオブジェクトは PiP トラックに表示され、PiP デザイ ナーで変更することができます。詳しくは、62ページの「オ ブジェクトの修正」を参照してください。

タイトルパレット



タイトルパレットには、プロジェクトに適用するタイトル、 クレジットの追加、作品のコメントなどのライブラリが含ま れています。詳しくは、49ページの「タイトルエフェクト の追加」を参照してください。

トランジション



トランジションパレットには、ビデオや画像クリップの間に トラノンションハレットには、こうな、二 適用して表示を円滑にしたり、より専門的に見せるトランジ ションのライブラリが含まれています。詳しくは、49 ページ の「トランジションの追加」を参照してください。

音量ミキシングパレット

音量ミキシングパレットには、プロジェクトの音声トラック を制御するミキシング機能が搭載されています。詳しくは、 73ページの「音声ミキシングパレットの音声レベルのミキ シング」を参照してください。

吹き替え録音パレット



吹き替え録音パレットは、ビデオクリップを見ながら録音す 吹ざ省え球目ハレットは、こうな、シュート るナレーションの録音を制御します。詳しくは、75ページの 「吹き替えの録音」を参照してください。

チャプタパレット



チャプタパレットには、チャプタポイントを自動または手動 で設定できるオプションが含まれています。完成ディスクに チャプタを設定すると、再生時にメニューページから設定し たチャプタポイントにジャンプすることができます。詳細に ついては、77ページの「チャプター」を参照してください。

字幕パレット



│ 字幕パレットでは、手作業または 、TXT/、SRT ファイルを直接 CvberLink PowerDirector にインポートして字幕を挿入するこ とができます。詳しくは、79ページの「字幕」を参照して ください。

作業領域

作業領域は[編集]ウィンドウの一部で、素材やエフェクト、トラン ジションなどをプロジェクトに追加することができます。作業領域 には[タイムライン]と[ストーリーボード]の2種類の表示があ り、[タイムライン]ボタンまたは[ストーリーボード]ボタンをク リックして切り替えます。

注: 27 ページの「編集環境の設定」で、起動時にデフォルトで表示する モードを設定できます。

素材やエフェクトを作業領域の特定のトラックに読み込み、それら をストーリーの別の場所に移動したり、作業領域から削除すること ができます。ここでは、クリップを適切なトラックに追加する方法 や、追加したアイテムを操作する方法について説明します。

タイムライン表示



素材のトラック

タイムラインには、次のトラックがあります。

トラック	詳細
	マスタービデオトラック にはプロジェクトのメイン となるビデオまたは画像クリップを保管します。
	エフェクトトラック にはマスタービデオトラックの ビデオや画像クリップに適用する特殊効果を保管し ます。マスタービデオトラックと同じ場所に保管さ れます。
*	PiP トラックには、PiP エフェクトの再生中に表示されるマスタービデオトラックに挿入されるビデオ / 画像クリップとオブジェクトを保管します。Track Manager(トラックマネージャ)で最大6つのPiPト ラックがタイムラインに追加可能です。PiP トラック はタイムライン上の順番に沿って番号が付けられま す。1.**
Ģ	タイトルトラック はマスタービデオトラックのタイ トルエフェクト表示時間にクリップで表示するタイ トルエフェクトを保管します。
4 £	音声トラック には、吹き替えナレーションや副音声 クリップを保管します。
55	BGM トラック にはプロジェクトの主音声や音楽ク リップを保管します。

Track Manager(トラックマネージャ)

トラックマネージャでは PiP トラックをタイムラインに追加できる ため、同時に最大6つの PiP オブジェクトを表示できます。タイム ラインに PiP トラックを追加するには、MM をクリックしてから追加 したい PiP トラック番号を選択します。 タイムラインに追加 PiP トラックを追加した後、[タイムラインに合わせる]ボタンをクリックすると、 回じ すべてのトラックを既存の タイムラインに合わせて表示するため、スクロールさせてトラック を表示する必要がありません。

タイムラインのトラックのロック/ロック解除

タイムラインのトラックをロックするには、トラックの左側にある ■をクリックします。トラックがロックされていると、そのトラッ クにクリップを追加したり、トラックに含まれるクリップを移動・ 編集したりできません。タイムラインのトラックのロックを解除す るには、トラックの左端にある ■をクリックします。ロック解除さ れたトラックは、アイテムの追加、移動、編集が自由に行えます。 詳しくは、51 ページの「作品のプレビュー」を参照してください。

タイムラインのトラックの表示 / 非表示

タイムラインのトラックを非表示にするには、プレビューウィンド ウの[ムービー]をクリックし、トラックの左端の ◎をクリックし ます。非表示のトラックはプレビューウィンドウに表示されません。 こうすると、トラックごとにプロジェクトをプレビューしたり、作 業中のトラックのみを表示することができます。

タイムラインで非表示にしたトラックを表示するには、プレビュー ウィンドウの [**ムービー**] をクリックし、トラックの左端にある M をクリックします。

ルーラの変更

スケールを変更することで、タイムラインの表示を拡張したり、縮 小することができます。スケールを変更するには、ルーラの内側を クリックして、ドラッグします。スケールを拡張すると、表示が拡



大されるので、アイテムやエフェクトの位置合わせに特に便利です。 また、映像全体を表示するには、スケールを短縮します。

タイムラインズーム

タイムラインを拡大 / 縮小して表示全体を変更できます。調整する ことで、タイムラインでムービーのコンテンツすべてを素早く把握 することができます。拡大 / 縮小するには、タイムライン下のスラ イダを使います。

• _____ •

ストーリーボード表示

ストーリーボードは、基本的にプロジェクトを映し出す1つの大き なグラフィックディスプレイです。ストーリーボードは、シーンや 作品全体を視覚的に捉えるのに便利です。ストーリーボード表示に 切り替えるには、20をクリックします。

uĭu					
	0 00:00:04:05	1 00:00:06:16	2 00:00:07:16	3 00:00:09:02	4 00:00:13:09

注: ストーリーボード表示では映像素材のみ配置することができます。 この表示で使用できない機能を使うと、CyberLink PowerDirector は自 動的にタイムライン表示に切り替わります。

作業領域に素材を追加

素材やエフェクトを作業領域に追加したら、さらに編集作業を進め ます。短時間で完成させたい場合や、手引きが必要な場合には、 Magic Movie ウィザードやスライドショーデザイナを使用することも できます。

素材クリップのタイプにより、追加できるトラックが異なります。 例えば、タイトルはタイトルトラック、トランジションはトランジ ショントラック、音声は音声または BGM トラックにのみ追加可能で す。素材クリップを選択すると、追加できるトラックがハイライト 表示されます。

Magic Movie ウィザード

初めて編集する場合や、編集の始め方などが不確かな場合には、 Magic Movie ウィザードが役に立ちます。このツールを使えば、簡単 な手順ですばらしいムービーを作成することができます。ウィザー ドで作成した作品は、作業領域で編集や手直しして、ファイル出力 したりディスクに書き込むことができます。

注: Magic Movie ウィザードには、メディアライブラリのすべての素材を 使用するオプション、作業領域内のすべての素材を使用するオプ ション、そして選択した素材を使用するオプションがあります。特 定の素材のみを使用する場合には、事前にクリップを選択しておい てください。

スライドショー デザイナー

スライドショーデザイナを使用して、写真からダイナミックなスラ イドショーを簡単に作成することができます。使用するすべての写 真をタイムラインにドラッグし、すべてを選択してから[スライド ショー]ボタンをクリックしてスライドショーデザイナーを起動し ます。



スライドショーデザイナーでは、数々のスライドショーテンプレートを写真に適用することができます。テンプレートを使うと、さま ざまなタイプのスライドショーが作成できます。[次へ]をクリック するとプレビューウィンドウに切り替わり出力を見ることができま す。必要に応じて、前のウィンドウに戻り、別のテンプレートを選 択します。

 BGM を追加するには、 サフ をクリックしてから使用したい音 声ファイルを選択します。 注: スライドショーに BGM を付けると、CyberLink PowerDirector の Magic Slideshow 技術でスライドショーの表示時間に合わせて写真を表示す るよう同期します。

BGM 設定

スライドショーで BGM を使う場合は、[**BGM 設定**] をクリックして 次のようにスライドショーの BGM 設定を行います。

- 必要に応じて、プレビューボタンで音声ファイルをトリミン グし、トリミングバーのスライダーに始点と終点を設定しま す。
- 必要に応じて、BGM 再生中に 1 をクリックして BGM の始点
 を設定し、
 で終点を設定します。
- 必要に応じて、BGM のフェードイン または フェードアウト効果を選択します。

スライドショー設定

[スライドショー設定]をクリックして次のようにスライドショーの 設定をします。

- 録画時間:この機能はスライドショーの表示時間を設定します。[写真を音楽に合わせる]を選択すると、スライドショーの表示時間を選択した BGM の再生時間に合わせます。[音楽を写真に合わせる]を選択すると、タイムラインのスライドショー表示時間に合わせて BGM を調整します。
- 順序:この機能はスライドショーで写真を表示する順序を設定します。[タイムライン順序]を選択すると、タイムラインと同じ順序で表示します。[撮影日/時刻順]を選択すると、写真を撮影した日付と時刻を基にスライドショーを表示します。

セルスライドショーの詳細設定

セルスライドショーテンプレートを選択した場合は、必要に応じて プレビューウィンドウの[詳細設定]ボタンをクリックして、手動で スライドショーを編集できます。

スライドショー デザイナー							
プレビューエリア:		使用しない写真:	写真の追加				
	>	sunrise	boat	bridge			
	<	dog	flower	river			
⊕ ● ■ ■ ► 00:00:00							
リミックス			ページの	最大写眞數: 10 🛟			
				- >			
			ОК	キャンセル			

詳細設定ウィンドウでは、次の操作ができます。

- プレビューボタンを使用してスライドショーをプレビューします。
- [リミックス]ボタンをクリックすると CyberLink
 PowerDirector が新しいセルスライドショーを生成します。
- [写真の追加]をクリックすると、セルスライドショーに写真 を追加します。
- 必要に応じて、新しいセルのプレビューエリアに写真をド ラッグします。
- 未使用の写真ペインから写真を配置したいセルの場所にド ラッグ・アンド・ドロップします。

- ・ 写真を選択してから、[フォーカスエリアの設定]ボタン 出 をクリックすると写真セルでフォーカスしたい写真の個所を 指定します。
- ・ スライドで表示可能な写真の最大数を示します。

ビデオ、写真、音声を作業領域に追加す る

ここでは、タイプ別に素材クリップを作業領域に追加する手順について説明します。

注: タイムラインの表示よりストーリーボードの方が見やすいため、ク リップを追加するときはストーリボードを表示する方が簡単です。 ただし、ストーリーボードの場合は、ビデオトラックにしかクリッ プを追加することができません。したがって、ここではすべての手 順をタイムライン表示で説明します。

ビデオ / 写真クリップの追加

ビデオクリップと写真は、マスタービデオトラック、または PiPト ラックのいずれかに追加できます。

注: トラックマネージャではプロジェクトのタイムラインに PiP トラック を追加できるため、同時に最大 6 つの PiP オブジェクトをビデオで表 示できます。詳しくは、38 ページの「Track Manager(トラックマ ネージャ)」を参照してください。

ビデオ/写真クリップを作業領域に加えるには、次の操作をします。

- ビデオトラックまたは PiP トラックの適用する位置にクリッ プをドラッグします。マスタービデオトラックにクリップを 追加するときは、クリップの前後に空間を置くことはできま

せん。マスタービデオトラックの末尾に追加されたアイテム は、そのトラックの最後のアイテムの直後に配置されます。

- 注: 複数のクリップを選択して一括して同じトラックにドラッグできま す。このとき、すべてのクリップがドラッグ先のトラックと互換性 があることが必要です。
 - 必要に応じて、クリップを右クリックして[ビデオトラック に追加]または[PiPトラックに追加]を選択します。

ビデオクリップと写真をマスタービデオトラックに追加すると、 ムービーの基本的な枠組みが作れます。素材を PiP トラックに加え ると、PiP エフェクトのみが作成されます。

注: ムービーの PiP エフェクトをカスタマイズするには、PiP デザイナー を使用します。詳しくは、63 ページの「PiP エフェクト /PiP オブ ジェクトの修正」を参照してください。

カラーボードの追加

カラーボードを使用すると、ムービーに単一色のフレームを挿入で きます。カラーボードは、ビデオ間のトランジションや、タイトル またはエンディングクレジットの背景などに使えます。

注: カラーボードはマスタービデオまたは PiP トラックのいずれかに追加 できます。

音声クリップの追加

音声クリップを追加して、BGM やナレーションなどの音声ファイル をムービーに追加できます。CyberLink PowerDirector では音声素材と して2つのトラック(BGM と音声トラック)があり、どちらにも配 置できます。

ビデオ / 写真クリップを作業領域に加えるには、次の操作をします。

- 1つ以上の音声クリップを音声トラックまたは BGM トラックの適用する位置にドラッグします。音声クリップはこのトラックの任意の位置に加えることができます。
- 必要に応じて、クリップを右クリックして[音声トラックに 追加]または[BGMトラックに追加]を選択します。
- 注: 音声ファイルはタイムラインの作業領域に加えることができます。 音声ファイルをストーリーボードの作業領域にドラッグすると、作 業領域は自動的にタイムライン表示に切り替わります。

ビデオエフェクト、オブジェクト、タイ トル、およびトランジションの追加

ここでは、ビデオエフェクト、オブジェクト、タイトル、およびト ランジションを作業領域に追加する方法について説明します。

注: ビデオエフェクト、オブジェクト、タイトル、トランジションをタ イムラインの作業領域に追加することができます。上記効果のいず れかをストーリーボードの作業領域にドラッグすると、自動的にタ イムライン表示に切り替わります。

ビデオエフェクトの追加

ビデオエフェクトをタイムライン**クリップの一部**に追加するには、 次を実行します。

- エフェクトパレットからあるエフェクトを適用したいマスタ ビデオトラックのエフェクトトラック直下のクリップにド ラッグします。
- エフェクトを右クリックしてから[タイムラインに追加/置き換え]を選択すると、タイムラインスライダの現在の位置に追加あるいは置き換えます。

- ・ デオエフェクトをランダムに追加する]を選択すると、エフェクトをタイムラインスライダの現在の位置にランダムに追加することができます。
- 注: [修正]ボタンをクリックすると、エフェクトのオプションを変更し ます。62ページの「エフェクトの修正」を参照してください。

ビデオエフェクトをタイムラインの**クリップ全体**に追加するには、 次の操作をします。

- エフェクトを選択してからマスタービデオトラックにドラッグし、適用するクリップの上でドロップします。ビデオエフェクトがそのクリップ全体に適用されます。
- 注: [エフェクト]ボタンをクリックすると、エフェクトのオプションを 変更します。詳しくは、62ページの「エフェクトの修正」を参照し てください。

PiP オブジェクトの追加

タイムラインに PiP オブジェクトを追加するには、次の操作をします。

- 注: トラックマネージャではプロジェクトのタイムラインに PiP トラック を追加できるため、同時に最大 6 つの PiP オブジェクトをビデオで表 示できます。詳しくは、38 ページの「Track Manager(トラックマ ネージャ)」を参照してください。
 - PiP オブジェクトパレットからオブジェクトを PiP トラックの 適用する位置にドラッグします。
 - オブジェクトのトラックをタイムラインスライダの現在の位置に追加または置き換えるには、オブジェクトを右クリックして [タイムラインに追加 / 置き換え]を選択します。
- 注: DirectorZone ホームページから PiP オブジェクトをダウンロードする ことができます。詳しくは、14 ページの「DirectorZone のテンプ レートをダウンロード」を参照してください。

オブジェクトを PiP トラックに追加したら、[修正]ボタンをクリッ クしてオブジェクトの位置やモーションなどを PiP デザイナーで編 集します。詳しくは、63 ページの「PiP エフェクト /PiP オブジェク トの修正」を参照してください。

タイトルエフェクトの追加

タイトルエフェクトをタイムラインに追加するには、次の操作をし ます。

- ライブラリ下の ボタンをクリックして、タイム ラインスライダの現在の位置でタイトルをタイトルトラック に追加できます。
- エフェクトをタイトルパレットからタイトルトラックの適用 する位置にドラッグします。
- ・ ごをクリックしてから、[タイトルエフェクトをランダムに 追加する]を選択すると、タイトルをタイムラインスライダの現在の位置にランダムに追加することができます。
- 注: DirectorZone ホームページからタイトルテンプレートをダウンロード することができます。詳しくは、14 ページの「DirectorZone のテン プレートをダウンロード」を参照してください。

開いたタイトルデザイナーでタイトルエフェクトを編集できます。 詳しくは、67 ページの「タイトルエフェクトの修正」を参照してく ださい。

トランジションの追加

トランジションをタイムラインに追加するには、次の操作をします。

- トランジションパレットからトランジションエフェクトを選択し、適用するマスタービデオトラックのクリップの間にドラッグします。
- 注: トランジションの表示時間を設定できます。詳しくは、54 ページの 「クリップ表示時間の設定」を参照してください。

トランジションをタイムラインの**すべてのクリップ**にランダムに追 加するには、次の操作をします。

- タイムラインにあるクリップすべてにトランジションをラン ダムに追加するには、トランジションをクリックして、ライ ブラリ下の ボタンをクリックします。
- タイムラインにあるアイテムすべてにフェードトランジションをランダムに追加するには、トランジションをクリックして、ライブラリ下の
- ライブラリウィンドウで きたりリックしてから、[ランダムに追加する(すべてのアイテム)]または[フェードを追加する(すべてのアイテム)]を選択します。

作品のプレビュー

ビデオを作成中は、作品をプレビューして確認することができます。 CyberLink PowerDirector では、2種類の方法で作品をプレビューでき ます。プレビューは、特定のアイテムのみでも、作品全体でも可能 です。

プレビューウィンドウ

素材をプレビューする最も簡単な方法は、ライブラリ右側のプレ ビューウィンドウで再生することです。ライブラリまたは作業領域 に表示される素材はすべてこのウィンドウでプレビューできます。 ただし、プレビューボタンはビデオと音声素材にしか使用できませ ん。



素材ビューア

素材ビューアはプレビューウィンドウと似ていますが、プレビュー ウィンドウより大きい画面で表示されます。

素材ビューアを起動するには、プレビューウィンドウで をクリックします。

素材ビューアは素材クリップを表示するほか、作品全体をサイズ変 更可能なウィンドウで表示することができます。



素材の編集

素材を作業領域に用意したら、編集作業を始められます。編集作業 には、ビデオや音声クリップから不要なセクションを削除したり、 ビデオクリップの速度を調節したり、エフェクトを適用したり、と いったさまざまな処理があります。ここでは、素材ごとに、適用で きる編集処理について説明します。

注: ここで説明する機能は、タイムライン表示でのみ実行できます。

クリップの分割

素材クリップをタイムラインスライダの位置で分割できます。この 操作手順は、トランジション以外のどのタイプのアイテム(ビデオ、 写真、音声またはエフェクト)でも同じです。

注: ビデオや音声クリップを分割しても、内容は削除されません。分割 したビデオや音声クリップは、基の表示時間の長さまで延長するこ とができます。

ビデオと音声クリップのトリミング

外部の入力機器から取り込んだビデオクリップには、先頭部分や終 了部分、あるいはシーン間に不要な部分が含まれていることがあり ます。これらの不要部分は、CyberLink PowerDirector のトリミング機 能を使用して簡単に削除できます。

同様に、音声クリップをビデオクリップの表示時間に合わせたい場 合も、音声クリップを希望の長さにトリミングできます。

注: ビデオや音声クリップをトリミングしても、内容は削除されません。

シンプルトリムまたはマルチカットを行えます。マルチカットは、 ビデオクリップの複数箇所をトリミングして別のクリップを作成し ます。このクリップは元のクリップとは全く別のクリップです。マ ルチカットツールを使用して、シーンを検出することもできます。 この場合、検出されたシーンはオリジナルのビデオクリップから分割されず、クリップに区切りの位置のみが記録されます。

- ビデオまたは音声クリップをシンプルトリムするには、変更 するクリップを選択して[トリミング]をクリックします。
- ビデオまたは音声クリップをマルチカットするには、変更するクリップを選択して[マルチカット]をクリックします。
- 注: さらに厳密に(例えば、フレームレベルなどで)トリミングする場合は、Q をクリックしてタイムラインの虫眼鏡機能を起動して、 ズームイン Q やズームアウト Q を使用します。

クリップ表示時間の設定

タイムラインでは、次の時間設定がきます。

- 写真1枚の表示時間
- ・ タイトルエフェクトの表示時間
- ・ マスタービデオトラックに適用したエフェクトの表示時間
- PiP エフェクトやオブジェクトの表示時間
- ・ トランジションの実行時間

クリップの表示時間を設定するには、次のいずれかの手順を行いま す。

- クリップを選択してきから、[所要時間]ボタンをクリックして、[所要時間の設定]ウィンドウで所要時間を入力してから、[OK]をクリックします。
- クリップを右クリックしてから、[所要時間]を選択して、[所要時間の設定]ウィンドウで設定したい所要時間を入力し、 [OK] をクリックします。

 クリップを選択してから、カーソルをクリップの一方の端に 移動して、クリップの端を設定する位置にドラッグします。



注: トランジションは、適用される最も短いクリップの表示時間の半分 の長さまで伸ばすことができます。

素材クリップ全体のミュート

素材クリップ全体で音声出力をミュートできます。これは、クリッ プを右クリックして、[ミュートクリップ]を選択します。追加した ボリュームキーは非表示になります。





ミュートを解除するには、クリップを右クリックして、[ミュートク リップ]を無効にします。ボリュームキーは復元されます。

ビデオクリップ速度の変更

スローモーション効果や高速モーション効果は、見る者の注意を引き付け、ムービーのリズムを変えることができます。 ビデオクリップの速度を変えるには、変更するクリップを選択して[速度]をクリックします。 注: 音声を伸長したビデオクリップは、速度を 0.5 倍から 2 倍の間で変更 できます。音声をミュートしたクリップは、速度を 0.10 倍から 10 倍 の間で変更できます。

フレーム固定エフェクト

[フレーム固定]ボタンを使うと即座にフレーム固定機能がビデオに 適用されます。

ビデオで静止したい個所を選択してから、[フレーム固定]をクリッ クすると CyberLink PowerDirector がそのフレームのスナップショッ トを撮り、タイムラインに挿入します。ビデオエフェクトやタイト ルテンプレートにも挿入されるため、ビデオ再生中にこの機能を使 うこともできます。挿入した写真やエフェクトを編集してフレーム 固定エフェクトが効果的に働くよう調整します。

環境設定のオプションを選択して、CyberLink PowerDirector がエフェ クトを挿入しないよう設定することもできます。詳しくは、27ペー ジの「編集環境の設定」を参照してください。

時間情報

RichVideo ビデオまたは EXIF 画像をタイムラインに追加すると、[時間情報]ボタンが有効になります。[時間情報]ボタンをクリックすると、日付キャプション、またはキャプチャ元のタイムコードが有効になります。必要に応じて、ビデオや画像にテキスト注釈を追加することもできます。

ビデオクリップインターレース形式の設 定

ビデオクリップにはすべて、インターレース (TV) 形式が設定されて います。これは、フレームの表示方法を指定したもので、ビデオク リップの TV 形式に不一致や不正がある場合には、最終出力の画質を 落とすことになります。 作成したムービーを出力する前に、ビデオクリップはすべて同じ TV 形式に設定します。CyberLink PowerDirector は通常、正しい形式を検 出および提案しますが、一部のインターレースビデオ(動きが非常 にすくないビデオ)では、判定を誤ってプログレッシブビデオとす る場合があります。

CyberLink PowerDirector では DVD、SVCD、DV-AVI に対して、自動的 にインターレースビデオを出力するため、形式を間違って設定した ことが確かな場合にのみ、この設定を変更してください。

注: これは、完成ビデオの画質に大きく影響するため出力前に必ず実行 しなくてはならない重要な作業です。

ビデオクリップの TV 方式を設定するには、インターレース形式に設 定したいビデオクリップを右クリックし、[**インターレース / プログ** レッシブ]を選択します。

ビデオクリップの縦横比の調整

ビデオクリップの縦横比は通常、4:3 または 16:9 のいずれかに設定 されます。素材や再生メディアに応じて、動画の縦横比を調整でき ます。出力前に、すべての動画アイテムの縦横比をプロジェクトの 縦横比に一致するように設定してください。

4:3 と 16:9 の縦横比の映像が混在している場合、以下の 2 つのオプションが使用できます。

プロジェクトの縦横比が 4:3 である場合に、16:9 のクリップを使用 したムービーを出力するには、縦横比を調整したいビデオクリップ を右クリックし、[**縦横比の設定**]を選択します。

Magic Tools の使用

CyberLink PowerDirector の Magic Tools は、音声、ビデオ、画像など のクリップを簡単に加工することのできる一連の機能で、以下の ツールがあります。Magic Tools を使用すると、作品にクリエイティ ブなスタイルを持たせたり、ぴったりの BGM をつけたりできます。 CyberLink PowerDirector には、次の Magic Tools があります。

- Magic Movie ウィザード:スタイリッシュなエフェクトとトランジションを組み合わせて映像を作成します。
- Magic Clean: 音声、ビデオ、画像などのクリップをクリーニングします。
- Magic Motion: 画像クリップをズームおよびパンします。
- Magic Cut: ビデオの長い部分を自動的に短縮して、最高の場面を含んだより短いビデオにします。
- Magic Fix: 手ぶれしたビデオの修正、赤目の除去、写真のピン ボケを補正します。
- Magic Style: 予めデザインされたスタイルテンプレートでプロ フェッショナルなムービーを自動的に作成します。
- Magic Music: 表示時間に合わせて自動的に調整した BGM を追加します。

Magic Movie ウィザード



初めて編集する場合や、編集の始め方などが不確かな場合 には、Magic Movie ウィザードが役に立ちます。このツール を使えば、簡単な手順ですばらしいムービーを作成するこ とができます。Magic Movie で作成した作品は、作業領域で 編集や手直しして、ファイル出力したりディスクに書き込 むことができます。この機能の使用方法の詳細は、41 ペー ジの「Magic Movie ウィザード」を参照してください。

Magic Clean



CyberLink PowerDirector の Magic Clean は、画像ファイル、ビ デオファイル、音声ファイルのクリーンアップに使用できま す。このツールを使うと、ビデオクリップはよりシャープで 明るく、音声クリップはよりクリアになります。色と明るさ の調整がホワイトバランスの変更と同時に行えます。

Magic Motion



CyberLink PowerDirector の Magic Motion ツールは画像クリッ プをズームまたはパンさせて動画効果を加えます。単純な スライドショーを魅力的なプレゼンテーションに変えるこ とのできるツールでもあり、Magic Music と組み合わせて使 用すると、より効果的です。プロジェクトの写真ごとに異 なるモーションテンプレートを選択し、Magic Motion Designer で動画編集を加えます。

Magic Motion Designer

モーションテンプレートを選択して写真に適用したら、Motion Designer を選択して写真の動きをカスタマイズします。動きの変更 の仕方については、48 ページの「PiP オブジェクトの追加」の PiP プ ロジェクトのモーション変更、回転、速度の説明を参照してください。

Magic Cut

- Magic Cut ツールでは、長いビデオクリップから不要な部分 を自動的に切り取り、残したい部分のみで構成された任意 の長さに短縮することができます。Magic Cut 機能は「マ ジック」ビデオ技術を使い、不必要と思われるセクション を排除しながら、最も興味深い瞬間を検出・保持していま す。Magic Cut は、長いビデオを短いクリップに縮小します。 例えば、1時間のビデオを10分に短縮することも可能です。
- 注: 切り取りたいビデオクリップの長さが 15 分未満で、既に編集された り、重要な部分を含んでいる場合は、手動で編集(例えば、マルチ カット機能などを使用)したほうがよい場合があります。53 ページ の「ビデオと音声クリップのトリミング」を参照してください。

Magic Fix



Magic Style



Magic Style は、予めデザインされたスタイルテンプレート により、プロフェッショナルな映像を自動的に作成する ツールです。Magic Style には、オープニングシークエンス、 トランジション、エフェクトが含まれています。このツー ルは、オープニングタイトルや動画エフェクト、トランジ ションなどの設定に時間を費やさずに、素晴らしい表示効 果のあるムービーを作成したい場合に、完璧なツールとな ります。 注: Magic Style テンプレートは、オンラインで追加購入できます。詳細 は、4 ページの「ソフトウェアのアップグレード」を参照してくださ い。

Magic Music



Magic Music は、BGM クリップの再生を自動的に調整し、円 滑なカットオフが得られるように音声を微調整します。写 真スライドショーの編集などに最適なツールです。

注: SmartSound 関連の著作権や購入情報を見るには、[SmartSound] ボタ ンをクリックします。

エフェクトの修正

エフェクトの多くには、適用レベルの調節や個別設定が可能なオプ ションを備えています。ここでは、CyberLink PowerDirector における オプション設定の機能や操作手順について説明します。このセク ションにある操作手順をマスターすると、デジタルビデオ編集に熟 達する上で大変役立ちます。

エフェクトの修正

ビデオエフェクトは、適用したいビデオや画像クリップの時間位置 にあるエフェクトトラックに適用されます。また、ビデオエフェク トの所要時間内に表示されるマスタービデオトラックのクリップに のみ適用されます。

ビデオエフェクトを修正するには、エフェクトトラックのエフェクトを選択してから、[修正]をクリックします。クリップ全体に適用したエフェクトを修正するには、クリップを選択してから[エフェクト]をクリックします。ビデオエフェクトに適用できる修正は、そのエフェクトのプロパティにより異なります。

注: クリップ全体に適用したエフェクトを削除するには、エフェクト修 正オプションウィンドウでエフェクト名の選択を解除します。

オブジェクトの修正

PiP オブジェクトパレットから PiP トラックにオブジェクトを挿入す ると、そのオブジェクトには他の PiP 写真やビデオと同じプロパ ティが備わります。オブジェクトのサイズや位置を変更したり、 シャドウ(影)の追加やクロマキー効果などを適用することができ ます。

オブジェクトによっては、定義済みのモーション効果が適用されて いるものがありますが、このモーションは変更できます。また、静 止オブジェクトにモーションを適用することもできます。オブジェ クトの変更は、次の手順で行います。
PiP エフェクト /PiP オブジェクトの修正

PiP(Picture-in-Picture)エフェクトを使うと、画像、ビデオ、オブ ジェクトを既存の画像、ビデオ、オブジェクトにオーバーレイして 挿入します。PiP デザイナーを使うと、重ねるクリップの透明度、位 置、モーション、およびその他のプロパティを修正できます。

注: PiP デザイナーでオプションを調整すると、適用した状態が即座にプレビュー表示されます。

PiP デザイナーを開く手順

- PiPトラックのアイテムを選択してから [修正]をクリックします。
- PiP オブジェクトパレットで、 をクリックし、カスタマイズ した画像をインポートして新しいオブジェクトテンプレート を作成します。

PiP エフェクトのサイズと位置の修正

PiP エフェクトの素材クリップやオブジェクトのサイズと位置を変更 できます。変更できる大きさに制限はありません。クリップを小さ く縮小したり、下の素材ファイルが完全に見えなくなるまで拡大す ることもできます。

- サイズ、位置、方向の修正方法
 - コーナーまたは側面をクリック・アンド・ドラッグして PiP オブジェクトのサイズを変更します。
- 注: [縦横比を保持する]の選択を解除して PiP オブジェクトのサイズを 自由に変更します。
 - PiP オブジェクトをクリックしてから新しい位置にドラッグします。

 PiP オブジェクトの上部にある緑色の点をクリックして方向を 変更します。

PiP へのクロマキー効果の適用

写真やビデオクリップで色を選択してその下にある画像やビデオを 表示させてクロマキー // 効果を追加することができます。このエ フェクトで除去した色の部分は透明になります。

PiP エフェクトにシャドウを追加

境界線を PiP エフェクトに追加

フレームを PiP エフェクトに追加

PiP Designer を使うと、PiP 写真、ビデオ、オブジェクトの周りに クッキー型で切り抜いたようなフレームを追加できます。このフ レームは PiP 写真、ビデオ、オブジェクトの一部が切り抜き、PiP エ フェクトをクリエイティブな形で残します。

PiP エフェクト透明度の設定

透明度スライダを使用して PiP Designer の PiP エフェクトの透明度レベルを設定して、エフェクトの透明度を設定できます。

注: 透明度スライダはモーションタブにあります。

PiP エフェクトにモーションを追加

PiP 画像、ビデオ、オブジェクトにモーション(動画)効果を追加し て画面に動きを加えられます。予め定義されたモーションから選ぶ ことも、モーションをカスタマイズ作成することもできます。PiP エ フェクトにフェードイン / フェードアウト効果を適用することもで きます。

注: オブジェクトには、定義済みのモーション効果が既に適用されてい る場合もあります。このようなオブジェクトに別の定義済みのモー ションを適用するには、次の操作を行います。

PiP エフェクトに定義済みのモーションを追加

PiP エフェクトに定義済みのモーションを加えるには、[モーション] タブをクリックして、PiP モーション効果のオプションを表示し、一 覧から適用するモーション効果を選択します。

PiP エフェクト回転のカスタマイズ

PiP エフェクトの回転をカスタマイズするには、[回転設定]セクションで、PiP の回転角度を入力し、次のいずれかを選択します。

- PiP エフェクトを時計回り 😡 に回転する。
- PiP エフェクトを反時計回り Go に回転する。

PiP エフェクトのモーションカスタマイズ

PiP デザイナーでは、キーフレームを使用して、PiP エフェクトの移 動パスをカスタマイズできます。キーフレームの位置を変更するこ とで、PiP エフェクトが移動するパスを変更できます。

注: オブジェクトには、定義済みのモーション効果が既に適用されてい る場合があります。

PiP エフェクトのモーションをカスタマイズするには、次の操作をし ます。

- 既存のキーフレームをプレビューウィンドウの新しい位置に ドラッグします。PiP エフェクトは変更したキーフレームに 沿って移動します。
- パスラインをドラッグして PiP エフェクトのパスを変更する と、キーフレームまで移動します。
- [キーフレーム追加]ボタン ◆+ をクリックして必要な個所に 新しいキーフレームを追加します。
- 注: [キーフレームの削除]ボタン → を使用して、ハイライトした位置 ポイントを削除します。ただし、PiP エフェクトのモーションパスに は、最低 2 つのキーフレームが必要です。

PiP エフェクトモーション速度のカスタマイズ

PiP エフェクトのモーション速度を完全制御できます。次の3つの要因で PiP エフェクトのモーション速度が決まります。

タイムラインの PiP クリップの表示時間

PiP クリップが長いほど、PiP オブジェクトのモーションが遅くなり ます。例えば、PiP クリップが 10 秒の場合、PiP エフェクトがモー ションを完全に適用するのに 10 秒かかります。

キーフレーム間の距離

キーフレーム間の距離は、PiP エフェクトモーションの速度に影響し ます。キーフレーム間の距離が遠いほど、PiP エフェクトが次のキー フレームに到達するまでの時間が短くなります。

キーフレームタイムライン

キーフレームタイムラインはプレビューウィンドウの下にあります。 モーションパスのキーフレームは、それぞれキーフレームのタイム ラインに対応した印(マーカー)が付いています。

タイムラインの PiP クリップが 10 秒の場合は、キーフレームのタイ ムラインも 10 秒です。PiP エフェクトのモーション速度を上げるに は、キーフレームのマーカーを前のキーフレームのマーカーに近づ けます。



必要に応じて、一時停止するために必要な長さのあるキーフレーム タイムラインのキーフレームマーカーを拡張して PiP エフェクトを 瞬間的に停止することができます。



PiP テンプレートの保存と共有

PiP テンプレートの修正が終了したら、PiP オブジェクトライブラリ に保存して後で使用したり、DirectorZone にアップロードして共有 したりすることができます。

- ・ [保存]をクリックして修正したテンプレートを PiP オブジェ クトライブラリに保存します。
- ・ [共有]をクリックしてカスタマイズしたテンプレートを DirectorZone にアップロードします。
- ・ 全量をクリックして 修正した PiP エフェクトのモーションパスをユーザー定義パスとして保存します。

タイトルエフェクトの修正

タイトルエフェクトを使用して、開始画面のタイトルや、本編中の 字幕やテロップ、終了画面のクレジットなどの、テキストをムー ビーに追加できます。テキスト自体のスタイルを変更できるだけで なく、テキストを画面上で動かすこともできます。タイトルは、タ イトルの所要時間内に表示されるマスタービデオトラックのクリッ プにのみ適用されます。

タイトルエフェクトに含まれている、文字プリセット、アニメー ション、背景など、さまざまなオプションを使用することもできま す。これらのオプションはすべてタイトルデザイナーに含まれてい ます。

- 注: コミックタイトルエフェクトについては、文字と吹き出しの両方と も、サイズや位置、シャドウエフェクトなどを変更できます。吹き 出しを編集する操作は、テキストのカスタマイズと同じです。
- タイトルデザイナーを開く手順
 - タイトルトラックのタイトルエフェクトを選択してから、[修 正]をクリックします。
 - タイトルパレットで、

 をクリックして新しいタイトルテンプレートを作成します。
 - タイトルパレットで、既存のタイトルエフェクトを選択して から 一をクリックして既存のテンプレートを編集します。

タイトルデザイナーのタイトルにコンテンツを追加する方法

- ・ 「」をクリックしてタイトルエフェクトにテキストを追加します。
- ・
 をクリックしてテキストに付ける画像を追加します。

タイトルエフェクトに文字プリセットを適用

定義したプリセット文字をタイトルエフェクトに適用できます。定 義したプリセット文字を適用した後は、必要に応じて、書体、シャ ドウ、境界線などを設定して、タイトルに変更を加えることができ ます。

タイトルエフェクトにプリセット文字を適用するには、タイトルデ ザイナーの[**テキストプロパティ**]タブ、 <u>A</u> [文字プリセット] タブ <u>Aa</u> の順に選び、変更したいプレビューウィンドウのテキス トをクリックしてから、リストから適用するプリセット文字をク リックして選択します。

タイトルエフェクト書体のカスタマイズ

サイズ、色、フォントタイプ、太さ、位置、透明度、ぼかしなど、 タイトルエフェクトで使用する書体をカスタマイズできます。さら に、画面上でのタイトルの正確な位置を設定するツールや、TV 画面 での表示範囲となる画面領域を指定するツールなどがあります。 タイトルエフェクトの書体をカスタマイズするには、[テキストのプ ロパティ]タブ A1 をクリックしてから[書体設定]タブ をクリックします。

タイトルエフェクトにシャドウを追加

タイトルエフェクトのテキスト周囲にシャドウ(影)を追加できま す。オプションを使用して、シャドウの色やサイズを変更したり、 透明効果やぼかし効果を追加することができます。

タイトルエフェクトにシャドウを追加するには、[テキストのプロパ ティ]タブ A をクリックしてから、[フォントシャドウの設定] タブ A をクリックします。

タイトルエフェクトに境界線を追加

タイトルエフェクトのテキスト周囲に境界線を追加できます。オプ ションを使用して、境界線の色やサイズを変更したり、透明効果や ぼかし効果を追加することができます。タイトルエフェクトに境界 線を追加するには、[テキストのプロパティ]タブ An をクリッ クしてから、[境界線の設定]タブ An をクリックします。

タイトルエフェクトにアニメーションを適用

テキストの移動やワイプなどアニメーションをタイトルエフェクト に適用できます。アニメーションは、タイトルのテキストオブジェ クトまたは個別のテキストオブジェクトにも適用できます。エフェ クトの最初または最後、その両方に適用できます。

タイトルエフェクトにアニメーションを適用するには、[アニメー ションプロパティ]タブ ※* をクリックしてから、アニメー ション化するテキストをオブジェクト リストで選択する、またはプ レビューウィンドウでオブジェクトをクリックします。

- 「開始エフェクト]をクリックして、リストから開始アニメーションを選択します。
- ・ [終了エフェクト]をクリックして、リストから終了アニメーションを選択します。

タイトルエフェクトアニメーション速度のカスタマイズ

タイトルエフェクトのアニメーション速度を修正できます。次の2 つの要因でアニメーションが完了するまでの速度が決まります。

タイムラインのタイトルエフェクトクリップの表示時間

プロジェクトのタイムラインのタイトルエフェクトクリップの表示 時間が長いほど、タイトルエフェクトアニメーションが完了する時 間が長くなります。例えば、タイトルエフェクトクリップが 20 秒の 場合、タイトルエフェクトのアニメーションの開始から終了までに 20 秒かかります。

キーフレームタイムライン

キーフレームタイムラインはプレビューウィンドウの下にあります。 タイトルエフェクトアニメーションのデフォルトには4つのキーフ レームがあります。



最初の2つのキーフレームは、開始エフェクトの始点と終点を示し、 残りの2つは終了エフェクトの始点と終点を示します。

エフェクトの始点や終点や、エフェクトの開始から終了までの時間 を変更する場合は、キーフレームをタイムフレームの希望する位置 にドラッグします。



注: オレンジラインは、開始エフェクトアニメーションが完了してから タイトルエフェクトを表示する時間を示します。

タイトルエフェクトに背景画像を適用

任意の背景画像をタイトルエフェクトに適用できます。背景画像は タイトルエフェクト全体に適用され、マスタービデオトラックのコ ンテンツをオーバーレイします。

タイトルエフェクトに背景画像を適用するには、[**背景プロパティ**] タブ で たクリックしてから、背景画像リストで使用する背景 を選択します。

注: 気に入った背景画像がリストにない場合は、オリジナルの画像を使 用できます。 - タークリックして、新規画像を追加します。

タイトルテンプレートの保存と共有

タイトルテンプレートの修正が終了したら、タイトルエフェクトラ イブラリに保存して後で使用したり、DirectorZone にアップロード して共有したりすることができます。

- [保存]をクリックして修正したテンプレートを新規テンプ レートとしてタイトルパレットに保存します。
- [共有]をクリックしてカスタマイズしたタイトルテンプレートを DirectorZone にアップロードします。
- ・ 昼 をクリックしてカスタマイズしたタイトルエフェクトテキストのプロパティを新規プリセット文字として保存します。

音声のミキシング(調整)と 吹き替え

作品に音声を付けたり消したりできます。音量ミキシングパレット を使用して、音声レベルを調節したり、吹き替え音声を録音してナ レーションを付けたりできます。

ビデオクリップから音声を分離

ビデオクリップの音声を操作する簡単な方法は、ビデオクリップか ら音声を分離して音声トラックに挿入する方法です。 ビデオクリップから音声を分離するには、ビデオクリップをタイム ラインで右クリックし、[**音声分割**]を選択します。音声がマスター ビデオトラックから音声トラックに移動します。

注: 音声分割機能では、ビデオクリップの音声を別のファイルに抽出す ることはできません。ビデオクリップから音声を抽出するには、23 ページの「ビデオクリップから音声を抽出」を参照してください。

音声クリップの音量レベル変更

ムービーの作成中は、BGMトラック、音声トラック、および追加し たビデオクリップに、音声が含まれている場合があります。それぞ れのトラックは異なるレベルで録画(録音)されているため、音量レ ベルが異なる可能性があります。

CyberLink PowerDirector の音声ミキシングパレットを使うと、音声レベルの異なるトラックをミキシング(調整)することにより、調和のとれたサウンドトラックを出力できます。音量レベルは、BGMトラックや音声トラックの音声クリップ内でもミキシングできます。

トラック内の音声ミキシング(調整)

タイムラインの音声クリップの任意の位置で音量レベルを手動で変 更できます。

タイムラインの音声トラックの音量レベルを変更するには、音声レ ベルラインの音声レベルを変更したい場所をクリックして、ボ リュームキーを設定します。音量を上げるにはボリュームキーを上 にドラッグし、音量を下げるにはボリュームキーを下にドラッグし ます。

MUSIC04 MP31x

- ・ 音量を微調整するには、トラックに沿ってボリュームキーを 少なめに設定し、音量を大幅に変更するには、多くのボ リュームキーを設定します。
- ボリュームキーを削除するには、ボリュームキーをクリップの枠の外にドラッグします。

音声ミキシングパレットの音声レベルのミキシング

音声ミキシングパレットの音声ミキサーを使用すると、作業領域の 音声クリップの音量レベルを精密に調整できます。音声ミキサーで は、作業領域のさまざまな音声トラックに対応して音量レベルを調 整できます。



音声ミキシングコントロール

音声をミキシングするには、 をクリックして音声ミキシングパレットを開きます。タイムラインの現在位置にある音声をミキシング(調整)できます。再生ボタンを使用して、ムービーで音声をミキシングしたい個所を検索します。

- ・ 垂直スライダを使用して、トラックの各個所で音量を調節するボリュームキーを設定します。
- トラック全体の音量を増減するには、水平スライダを使用します。
- 注: タイムラインに1つ以上の PiP トラックがある場合、PiP トラックセ レクタを使って音声をミキシングする PiP トラックを選択します。

音声クリップにフェード効果を加える

音声クリップにフェードイン / フェードアウト効果を適用するには、 フェード効果を開始する音声の位置をクリックし、次の操作を行い ます。

- ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<
- ((いをクリックしてフェードアウトを適用します。)

音声クリップの音量レベルを戻す

ボリュームキーを手動で設定後も音声クリップの音量レベルに満足 できない場合は、簡単に元の音量レベルに戻すことができます。ト ラックを右クリックしてから、[元の音量レベルに戻す]を選択しま す。追加したボリュームキーは完全に削除されます。

吹き替えの録音

吹き替え録音パレットには、ビデオ作品を見ながらマイクを使って ナレーションを録音する制御機能があります。録音したナレーショ ンの音声トラックは、自動的にビデオに同期されます。

吹き替えの録音は、 ♥ をクリックして、 吹き替え録音パレットを開きます。



録音オプションボタン



- ・ 吹き替えオプションは次の手順で設定します。
 - [**デバイス**]を選択して、音声入力機器と入力ソースを指 定します。
 - [プロファイル]を選択して、音質を設定します。
 - [オプション]を選択して、最大録音時間、または3秒後の録音開始を設定します。自動フェードイン/フェードアウトも設定できます。
- 吹き替えにフェードイン / フェードアウト効果を適用するか どうかを選択します。
 - ・ シンをクリックするとフェードインを追加し、 (いでフェードアウト効果を追加します。)
- ・
 ・
 をクリックして、録音を開始します。プレビューウィンドウで動画を見ながら、吹き替えを録音します。
- ・
 ●
 をクリックして録音を停止します。

チャプター

チャプターは DVD ディスクの頭出しを容易にする機能です。チャプ ターとは特定の場所にジャンプさせるマーカーのことで、チャプ ターを挿入すれば、再生の際にメニューページからチャプターが設 定された位置にジャンプできます。

注: チャプターを設定しない場合は、ディスクをプレイヤーに挿入する と、自動的に再生が開始します。

チャプターを設定するには、**2000**をクリックして、チャプターパレットを開きます。

チャプターの設定

チャプターを設定するには、次のいずれかを行います。

- 各ビデオクリップの開始位置にチャプターを設定するには、
 ここのです。
- チャプターを一定の時間隔で設定するには、間隔(分単位)
 を入力し、
 をクリックします。
- チャプターを等分割で指定するには、入力ボックスにチャプ ターの数を入力し、
 第1000
 第100
- チャプターポイントを手動で設定するには、タイムラインで その場所に移動して、
 エキ をクリックします。
- チャプターポイントを削除するには、削除するチャプターポイントを選択してから
- 設定したチャプターポイントをすべて削除するには、
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 <l

チャプターサムネイルの追加

メニューに表示するチャプターのサムネイルイメージをカスタマイ ズできます。プレビューウィンドウのフレームがチャプターサムネ イルに設定したいフレームのときに **Lay**をクリックします。



CyberLink PowerDirector でディスクのムービーに字幕を追加したり、 ディスク / ビデオファイルに字幕を書き込みます。字幕は、テキス トファイルからインポートしたり、手作業で字幕パレットに追加し たりできます。

ムービーに字幕を追加するには、 …… ボタンをクリックして、字幕 パレットを開きます。 …… をクリックし、次のいずれかの字幕タイ プを選択します。

- ディスクの字幕を作成:このオプションを選択すると、市販の ディスク再生ソフトと互換性のある字幕を作成します。この 字幕は、市販のディスクと同じように表示 / 非表示が切り替 えられます。
- 注: [ディスクの字幕を作成]を選択すると、CyberLink PowerDirector で 作成したディスクメニューに字幕オプションをデフォルトで設定し ます。テキスト形式の字幕には制限があります。
 - ビデオファイル刷り込み型字幕の作成:このオプションを選択 するとビデオの字幕と組み合わせます。

字幕の挿入

ムービーに字幕を挿入するには、次の操作を行います。

- 再生ボタンを使用して字幕に対応する会話が始まる位置に移動し、[字幕追加]ボタン まをそれぞれの会話に対して続けてクリックします。停止タンをクリックすると、字幕文字が字幕ウィンドウにロードされます。

字幕の編集

ムービーの字幕を編集するには、次の操作を行います。

- タイムラインまたは字幕の一覧で字幕マーカーをダブルク リックして、字幕テキストを入力します。
- 「テキストのフォーマットを変更」ボタン
 こ、字幕のスタイルを設定します。
- 字幕を削除するには、字幕マーカーを選択して[字幕の削除]
 ボタン をクリックします。
- 注: 字幕をエクスポートして .SRT ファイルで保存するには、 2014 をク リックします。

テキストファイルから字幕をインポート

をクリックして.SRT または.TXT 形式のテキストファイルから字 幕をインポートできます。これにより、プログラムの外に字幕を作 成したり、他のリソースから読み出す、または CyberLink PowerDirector にインポートすることができます。

注: SRT ファイルがインポートされると、CyberLink PowerDirector で字幕 が自動作成されます。ただし、TXT ファイルの場合はまずすべての字 幕マーカーを入力する必要があります。

字幕と会話の同期

CyberLink PowerDirector のオプション機能を使用して、挿入した字幕 をビデオと確実に同期させることができます。

字幕の開始時間を設定するには、次の操作を行います。

・ 字幕の [開始時間] 欄にタイムコードを入力します。

字幕トラックで字幕マーカーの開始位置にカーソルを移動し、
 設定したい位置までドラッグします。



字幕の終了時間を設定するには、次の操作を行います。

- ・ 字幕の[終了時間]欄にタイムコードを入力する。
- 字幕トラックで字幕マーカーの終了位置にカーソルを移動し、
 設定したい位置までドラッグします。



CyberLink PowerDirector

第4章:

ムービーの出力

ムービーが完成したら、出力の準備も整いました。ここで言う出力とは、作成したムービーを再生可能なファイルにコンパイル(レンダリング)することです。CyberLink PowerDirector では、多様な再生環境に対応できるよう、さまざまな出力方法を用意しています。

この章は以下の内容を説明しています。

- 84 ページの「SVRT 情報の表示」
- 85ページの「出力モード」
- 88ページの「ファイルの出力」
- ・ 90ページの「ストリーミングファイルの出力」
- ・ 92ページの「DV テープまたは HDV テープに書き込む」
- ・ 93 ページの「HDD ビデオカメラに書き込む」
- ・ 94ページの「ビデオのアップロード」
- 95ページの「バッチ出力」

SVRT 情報の表示

SVRT(スマートビデオレンダリングテクノロジ)とは、ムービーク リップの変更部分(出力時にレンダリングを必要とする部分)と、 変更のない部分(出力時にレンダリングを省略できる部分)を識別 する、CyberLink 独自のレンダリング技術です。SVRT 情報を表示す ると、出力処理をシミュレートできます。

注: SVRT の詳細については、122 ページの「SVRT: が適用される条件」を 参照してください。

編集プロジェクトで CyberLink PowerDirector が SVRT を活用する方法 については、 > [表示]>の[SVRT の情報]をクリックします。 SVRT トラックに表示される色は、CyberLink PowerDirector がどのよ うに SVRTを関連クリップ(またはクリップの一部)適用するかを示 しています。

- 緑:出力中にレンダリングが不要な範囲
- ・ 青:ビデオ部分のみのレンダリングが必要な範囲
- ・ 黄色:音声部分のみのレンダリングが必要な範囲
- ・ 赤:音声とビデオのレンダリングが必要な範囲

出力モード

[出力]ボタンをクリックすると、CyberLink PowerDirector は出力 モードに切り替わります。ここでムービーをディスクに書き込んだ りインターネットにアップロードしたりできるファイルにコンパイ ルします。

出カウィザード

CyberLink PowerDirector では、出力ウィザードを使用して簡単に作品 を出力することができます。[出力]ボタンをクリックすると、出力 ウィザードが開きます。

プレビューウィンドウ ムービープレビューの再生を操 出力モードボタン 作できます。 出力ウィザード 出力する形式を選択します DVデ You Tube IDV テープ書込み YouTubeにアッフ HDD ビデオカメラ に書き込む ファイル作成: ビデオファイル(DV-AVI、Windows-AVI、MPEG-1、 MPEG-2など)を出力します。 00:00:00:00 使用容量
 空き容量 34.1 GB 14.7 GB キャンセル 次へ) 情報表示領域

出力ウィザードのシンプルな操作パネルで簡単に出力作業が行えま す。

注: ムービーを出力する前には必ずすべてのビデオクリップが同じイン ターレース形式であることを確認してください。これは、完成ビデ オの画質に大きく影響するため出力前に必ず実行しなくてはならな い重要な作業です。作成したムービーの画質が不十分な場合は、す べてのビデオクリップのインターレース形式が同じであることを確 認してください。インターレース形式の異なるアイテムが混在して いる場合は、出力前に形式を統一してください。詳しくは、56ペー ジの「ビデオクリップインターレース形式の設定」を参照してくだ さい。

出力ウィンドウの最初の画面には、プレビューウィンドウ、ハード ディスク容量使用状況の表示、出力ウィザードで利用できる5種類 の出力オプションに対応したボタンが表示されます。以下にオプ ションについて説明します。

ボタン	詳細
	ファイル作成 :コンピュータで再生できるムービー ファイルを作成できます。88 ページの「ファイル の出力」を参照してください。
	ストリーミングファイルの作成 :インターネットで 配信できるムービーファイルを作成できます。90 ページの「ストリーミングファイルの出力」を参照 してください。
	DV テープに書き込む :DV テープに書き込める ムービーを作成できます。92 ページの「DV テープ または HDV テープに書き込む」を参照してくださ い。

ボタン	詳細
	HDV テープに書き込む :HDV テープに書き込める ムービーを作成できます。92 ページの「DV テープ または HDV テープに書き込む」を参照してくださ い。
	HDD ビデオカメラに書き込む : ハードディスクド ライブのカメラに書き込めるムービーを作成できま す。93 ページの「HDD ビデオカメラに書き込む」 を参照してください。
You Tube	YouTube® にアップロード : ビデオをインターネッ トにアップロードして公開できます。94 ページの 「YouTube への動画のアップロード」を参照してく ださい。

ファイルの出力

ムービーをビデオファイルとして出力できます。ビデオファイルは、 コンピュータで再生、ディスクに書き込む、ポータブル機器に出力 することができます。

ビデオファイルのプロファイルの作成 / 修正

ビデオファイルを出力する前に、必要に応じて新しいプロファイル を作成したり、既存のプロファイル設定を修正することができます。 プロファイル設定では、ビデオや音声の品質、ビットレートなどを ファイルごとに設定することができます。

ビデオファイルの作成

CyberLink PowerDirector を使用すると、さまざまな形式の動画ファイルを作成し、ニーズにあった品質で出力できます。

出力ウィザード			
手順2			
	AVI .MPEG1 .MPEG2		
	DivX Portable AVC .MPEG4 .MPEG4		
	プロファイルタイプ DVAM プロファイル名/品賞: NTSC ▼		
	高音質のNTSO形式のDV-AVIファイル にしンダリングします。DVテーブなどへの)採用に通してします。		
 ● 使用容量 34.1 GB □出力残り容量 17.2 MB □ 空き容量 14.7 GB 			
出力可能時間: 01:13:08			
	戻る 次へ キャンセル		

ビデオは次の形式で作成できます。

- AVI
- MPEG1
- MPEG2
- ・ ポータブル MPEG4
- AVC MPEG4
- 注: 対応ファイル形式は、CyberLink PowerDirector のバージョンにより異 なります。ご使用のバージョンで作成可能なファイル形式について は、Readme ファイルを参照してください。

ストリーミングファイルの出 カ

ムービーをストリーミング形式ファイルで出力してサーバーに保存 すると、ムービーをインターネットで配信することができます。

ストリーミングファイル設定の作成 / 修 正

ストリーミングファイルを出力する前に、作成するファイル形式に 合わせて、新しいプロファイルを作成したり、既存のプロファイル を修正することができます。プロファイル設定では、ビデオや音声 の品質、圧縮設定などをファイルごとに設定することができます。

ストリーミングファイルの作成

CyberLink PowerDirector を使用すると、さまざまな形式のストリーミング用ファイルを作成し、ニーズにあった品質で出力できます。



ビデオは次の形式で作成できます。

- (WMV) Windows Media Video
- RealVideo
- ・ QuickTime ムービー
- 注: 対応ファイル形式は、CyberLink PowerDirector のバージョンにより異 なります。ご使用のバージョンで作成可能なファイル形式について は、Readme ファイルを参照してください。これは、出力後のビデオ 画質に非常に影響するので出力前に必ず確認してください。

DV テープまたは HDV テープに 書き込む

ムービーを DV または HDV テープに出力することができます。この 機能は、簡単にムービーをデジタル形式で保存することができ、後 日別のコンピュータに読み込んで簡単に編集することができます。

DYテープに書き込む			
	NO.	フライル名: CADocuments and Settingsbu	所要時間 00.00.05-00
		ファイル数: 1 所要時間: 0分5秒	

注: 処理を始める前に、HDV カメラのテープに書き込む開始位置を手作 業で設定します。

HDD ビデオカメラに書き込む

ムービーを出力した後にハードディスクのビデオカメラに書き込む ことができます。この機能は、簡単にムービーをデジタル形式で保 存することができ、後日別のコンピュータに読み込んで簡単に編集 することができます。

出力ウィザード 🛛 🛛				
	手M#2			
	クロフ+イルなどの出力に関する設定を行います。 ディスクの国人だす状格: NTSC ▼ クロフ+イル名/品質: MFEG-2,1320x1000% ▼ 詳細 この設定は、HD 解像度(1320x1000)のMPEG-2 videoを映画します。			
	プロパティ			
 ● 使用容量 37.3 GB ■出力残)容量 14.9 MB ● 空ぎ容量 11.5 GB 	ファイル形式: MPEG-2移送ストリーム 圧縮の設定: MPEG-2 ドデオサイズ: 1970x1080			
出力可能時間: 01:06:04	可変ピットレート: 20000 ~ 28000 Kbps			
150出力は時間: 00.00.00	SVRTを使用する 戻る 次へ キャンセル			

ビデオのアップロード

CyberLink PowerDirector を使うと、作成したムービーを簡単にイン ターネットにアップロードすることができます。簡単な手順で作品 を CyberLink PowerDirector から YouTube® にアップロードできます。

YouTube への動画のアップロード

ビデオを YouTube[®] にアップロードするには、ユーザーインター フェイスの詳しい指示に従ってください。



バッチ出力

CyberLink PowerDirector のバッチ出力機能を使用すると、複数の作品を一度にまとめて出力できます。

🔹 Куғнар 🛛 🔀						
	NO.	プロジェクト名	出力ファイル(クリックして変更):	素材ファイル形式:	プロファイル名/品質:	
	バッチ	観要		ディスク情報		
バッチにあるプロジェクト0個			0個	ハードドライブの選択: (C:) WinXP 🔻		
ファイルの見積りサイズ合計:0.00 Byte			ET: 0.00 Byte			
		使用容量:28.5 GB 空き容量:69.2 GB				
					OK	キャンセル

バッチ出力を行うには、 [ファイル] > の [バッチ出力] を選択 します。

CyberLink PowerDirector

第5章:

ディスクの作成

編集したムービーを DVD などのビデオディスクに出力する方法について説 明します。3 つの簡単な手順でムービーを CD、DVD、ブルーレイディスク (Ultra バージョンのみ)に書き込めます。オーサリング機能が統合されてい るため、作成されたディスクはすぐに再生することが可能です。ビデオディ スクを作成するために、別のプログラムを起動する必要はありません。

この章は以下の内容を説明しています。

- ・ 98ページの「ディスクの作成モード」
- ・ 99ページの「ディスクメニュー」
- ・ 108ページの「ディスク作成環境の設定」
- ・ 110ページの「ディスク書込み」

ディスクの作成モード

[**ディスクの作成**]ボタンをクリックすると、CyberLink PowerDirectorはディスク作成モードに切り替わり、ディスクのメ ニューを編集したり、ムービーを CD、DVD、ブルーレイディスク (Ultra バージョンのみ)に書き込むことができます。ディスク作成 モードの画面は、次のように表示されます。



メニュー BMG と 最初に再生するビデオの追加
ディスクメニュー

ムービーをディスクに書き込む前には、ディスクの操作を促すディ スクメニューが追加できます。ディスク作成ウィンドウでは以下の 操作が可能です。

- 既存の、または予めデザインされたディスクメニューテンプ レートの選択
- ・ 既存のディスクメニューテンプレートの編集
- ・ メニューテンプレートの新規作成
- 注: ディスクにディスクメニューを含めない場合は、[メニューなしで ディスクを作成]を選択します。作成したディスクをディスクプレイ ヤに挿入すると自動的にビデオを再生します。

CyberLink PowerDirector のメニューテンプレートはすべてマルチレイ ヤ構造です。必要に応じてムービーの再生、キャプチャの選択、字 幕の表示切替が行えるテキストリンクを含むメインメニューが付い ています。

注: ディスクメニューの字幕メニューは、字幕パレットで字幕を作成す るときに[ディスクの字幕を作成]機能を選択した場合にのみ有効で す。詳しくは、79ページの「字幕」を参照してください。

テンプレートの選択

CyberLink PowerDirector には複数のスタイリッシュなテンプレートが 実装されています。テンプレートには、モーションやメニュー BGM が予め設定されているものもあります。

メニューページ・テンプレートには、以下の2つのタイプがありま す。

- チャプターサムネイルリンクボタン付きメニューテンプレート
- チャプターテキストリンク付きメニューテンプレート

DirectorZone のテンプレートをダウンロード

ディスクメニューテンプレートを追加したい場合は、ディスク作成 ウィンドウのテンプレート欄で 🌐 をクリックして DirectorZone か らダウンロードできます。

CyberLink または他の CyberLink PowerDirector ユーザーが作成し、 DirectorZone にアップロードしたテンプレートをダウンロードして 追加できます。

Eへていたいでは、DZM 形式でメニューテンプレートをディスク
 作成ウィンドウのテンプレートにインポートできます。

ディスクメニューのカスタマイズ

CyberLink PowerDirector ではディスクメニューの表示や作成を完全に 操作することができます。ディスク作成ウィンドウでは以下の操作 ができます。

- BGM または最初に再生するビデオの追加
- メニューテキストのフォントやメニューデザイナーの配置の カスタマイズ
- メニューデザイナーのカスタマイズした背景画像、ビデオ、 画像をインポート
- メニューデザイナーのボタンレイアウト、デザイン、エフェ クトをインポート
- ビデオエフェクトの追加とメニューモーションの設定

ページ別ボタンの指定

複数のチャプタでムービーディスクを作成するとき、チャプタページのレイアウト数を選択できます。[ページ別ボタン]ペインで選択できるボタンレイアウトのチャプタサムネイルを1つ選択します。

注: このとき、クリックできるテキストの付いたメニューテンプレート を選択した場合は、選べるボタンは1つです。

ディスクメニュー BGM の設定

メニューテンプレートにはメニュー BGM を含むテンプレートもあり ます。既存の BGM を編集したり、 ・フ をクリックして新しい BGM を追加することもできます。次の機能も搭載しています。

- Magic Music で BGM を追加するには、 テレーをクリックします。
 操作手順は Magic Music ツールと同様です。詳しくは、61
 ページの「Magic Music」を参照してください。
- 🕒 をクリックしてメニュー BGM をプレビューします。

最初に再生すビデオクリップの設定

最初に再生するクリップに指定したビデオファイルは、ディスクを 再生目的でコンピュータに挿入した場合に、メニューページ以前に 再生されます。この場合、再生中はナビゲーションボタンが利用で きません。つまり、スキップや早送りすることができません。市販 されている映像ディスクでは通常、この部分は著作権情報や警告 メッセージで構成されていますが、個人的な映像の場合には、他の ビデオクリップを利用することができます。

最初の再生アイテムの設定方法:

- ごをクリックして、使用するビデオファイルを選択します。
- 対象ファイルを削除するには、 こをクリックします。
- 最初に再生するビデオをプレビューするには、
 クします。

メニューデザイナーの使用

メニューデザイナーを使用して、テンプレートをカスタマイズした り、オリジナルのメニュースタイルを作成することができます。 メニューデザイナーを開いてディスクメニューをカスタマイズする 手順

- [新規作成]をクリックして新しいメニューテンプレートを作 成します。
- ・ 既存のメニューテンプレートを選択してから [修正] をク



リックします。

メニューデザイナーでは、3 つすべてのディスクメニューページの 編集が可能です。特定のページを変更するには、[**ジャンプ**]ドロッ プダウンメニューからホームページ、チャプタページ、字幕ページ のいずれかを選択します。

注: 字幕パレットで字幕作成時に[ディスクの字幕を作成]を選択した場 合は、[ジャンプ]ドロップダウンメニューに字幕ページしか表示 されません。詳しくは、79ページの「字幕」を参照してください。

メニューテキストの変更

メニューページに表示されるテキスト(チャプターテキストリンク も含む)を編集するには、メニューデザイナーでテキストをダブル クリックし、テキストを変更します。

注: テキストを変更するときは編集モードになっていることを確認して ください。

文字プリセット・テンプレートをメニューテキストへ適用

予め定義された文字プリセット・テンプレートをメニューテキスト に適用できます。適用後、必要に応じてタイトルエフェクトの書式、 シャドウ、境界線を変更します。

メニューテキスト書体のカスタマイズ

メニューテキストのフォントのサイズ、色、フォントの種類、太さ、 位置合わせ、透明度、ぼかしなどをカスタマイズできます。さらに、 画面上でのタイトルの正確な位置を設定するツールや、TV 画面での 表示範囲となる画面領域を指定するツールなどがあります。

メニューテキストヘシャドウを追加

メニューテキストの周囲にシャドウを追加できます。オプションを 使用して、シャドウの色やサイズを変更したり、透明効果やぼかし 効果を追加することができます。

メニューテキストへ境界線を追加

メニューのテキストの周囲に境界線を追加できます。オプションを 使用して、境界線の色やサイズを変更したり、透明効果やぼかし効 果を追加することができます。

メニューテキストに境界線を追加するには、タイトルに境界線を適 用する場合と同様の操作を行います。メニューテキストに境界線を 追加する詳細は、69ページの「タイトルエフェクトに境界線を追 加」の手順2を参照してください。

オブジェクトエフェクトの設定

メニューデザイナーの [オブジェクトのエフェクトの設定] タブを使 用してメニューエフェクトをカスタマイズできます。タブには、メ ニューボタンやナビゲーションボタン、テキストなど、メニューに あるオブジェクトがすべて一覧表示されます。オブジェクトエフェ クトを設定するには、メニューデザイナの [**オブジェクトのエフェ クトの設定**] タブをクリックします。

オブジェクトの一覧からアイテムを選択すると、そのオブジェクト がプレビューウィンドウでハイライト表示されます。ハイライトさ れたオブジェクトは、編集、サイズ変更、形の変更、ディスクメ ニューにおける位置の移動が行えます。

- 注: チャプターリンクテキスト付きメニューを作成する場合は、[オブ ジェクトのエフェクトの設定]タブを使用して、リンクテキストの選 択、編集、位置の移動が簡単に行えます。
 - [選択したオブジェクトのみを表示]を選択すると、エフェクト設定時に選択したオブジェクトのみが表示されます。

カスタマイズした画像、テキスト枠、ボタンなどをインポートして 新しいオブジェクトを追加することも可能です。これには次の操作 を行います。

- ・
 をクリックしてカスタマイズした画像をディスクメ ニューにインポートします。
- ・

 ・
 ・
 こューに追加します。

ボタンエフェクトの設定

メニューデザイナーで、フレームスタイルや位置、ハイライトのス タイルを選択して、ディスクメニューのメニューボタンやナビゲー ションボタンをカスタマイズできます。 注: チャプタテキストリンク付きのメニューテンプレートを選択した場合、カスタマイズできるのはメニューのナビゲーションボタンのみです。

オブジェクトにエフェクトを適用するには、メニューデザイナーの[**ボタンのエフェクトの設定**]タブを クリックし、次の手順 でエフェクトを設定します。

- ・ をクリックして、チャプターサムネイルのボタンフレームスタイルを選択します。[カスタムインポート]を選択してカスタマイズしたボタンフレームのスタイルをインポートします。
- ・ をクリックしてチャプターサムネイルボタンのレイア ウトを設定します。
- をクリックして、ナビゲーションボタンのスタイルを 選択します。[カスタムインポート]を選択してカスタマイズ したナビゲーションボタンのスタイルをインポートします。
- をクリックして、ボタンのハイライトスタイルを選択します。[カスタムインポート]を選択してカスタマイズしたボタンハイライトのスタイルをインポートします。

背景画像 / ビデオの置き換え

ディスクメニューの背景画像またはビデオを置き換えるには、[**背景** 画像 / **ビデオの置換] ボタン**をクリックします 🔼 。

ビデオエフェクトの選択

ディスクメニューに直接適用するビデオエフェクトを選択するには、 [ビデオエフェクトの選択]ボタンをクリックします

ディスクメニューテンプレートの保存と共有

ディスクメニューテンプレートの変更が完了したら、ディスク作成 ウィンドウのテンプレートに保存できます。保存したテンプレート は、再利用したり、DirectorZone にアップロードして共有できます。

- [保存]をクリックすると、変更したテンプレートをディスク 作成ウィンドウのテンプレートに保存できます。
- ・ [共有]をクリックしてカスタマイズしたテンプレートを DirectorZone にアップロードします。

ディスクのメニューページのプレビュー

ディスク作成ウィンドウまたはメニューデザイナーでディスクメ ニューを作成中はいつでも [**プレビュー**]をクリックしてディスク メニューページをプレビューできます。プレビューしたいチャプ ターが関連付けられているボタンをクリックします。再生ボタンを 使用してプレビューを操作します。



オーサリングモードに戻るには、[オーサリング]をクリックします。

ディスク作成環境の設定

[ディスク形式]タブでは、以下のオプションが使用できます。

- ディスク形式:ムービーの書き込みに使用するディスク形式を 選択します。
- ・ ディスク容量:ディスクの容量を選択します。
- ビデオ画質:ディスクの画質を次から選択します:DVD LP (長時間再生)、DVD SP (標準再生)、DVD HQ (高画質)、ス マートフィット。画質の設定ごとに異なるビットレートを使 用するため、作成されるファイルサイズも異なります。動画 の画質が高いほど、作成されるファイルのサイズが大きくな り、ディスクに入る動画の長さは短くなります。また、画質 が高くなるほど、レンダリングの際に、より高い CPU 処理能 力が必要となります。[スマートフィット]オプションは、使 用するディスクの容量に見合った最適な画質が得られるよう に、ビットレートを自動的に調整する機能です。
- ・ 音声形式:以下の音声形式が設定できます。LPCM(非圧縮の 音声形式)、Dolby Digital オーディオ(Dolby Digital Consumer Encoder 形式)、MPEG オーディオ(MPEG-1 オーディオ圧縮形 式)。(NTSC では互換性の問題が発生する場合があります)
- 注: 使用できる画質オプションと音声形式オプションは、選択したディ スク形式により異なります。
- [メニュー]タブでは、以下のオプションが設定できます。
 - ビデオサムネイルの使用:選択にすると、チャプターサムネ イルでディスクメニューのビデオを再生できるようになりま す。また、[ユーザ定義モーションメニューの表示時間]オプ ションに値を入力して、表示されるビデオの長さを制限でき ます。

- ・ 自動メニュータイムアウト:このオプションを選択すると、一 定時間が経過した後にビデオを自動再生します。
- チャプター再生後にメニューに戻る:このオプションを選択すると、選択したチャプターの再生が終了するとメインメニューに戻ります。

[音声]タブでは、以下のオプションが使用できます。

- Dolby Digital 5.1: このオプションを選択すると、ディスクで Dolby Digital 5.1 が使用可能になります。
- CyberLink VirtualSpeaker を適用して BGM を強調する:このオ プションをチェックすると、CyberLink VirtualSpeaker で BGM の音響効果を設定できます。[リビングルーム]、[劇場]、[スタジアム]から選択します。

ディスク書込み

素材の確保、ストーリの組立、クリップの編集、オーディオやビ ジュアルエフェクトの追加、レイアウトやディスクメニューのカス タマイズなどが終了したら、ディスクに書き込めます。

CyberLink PowerDirector には、さまざまな状況で便利なディスク完成方法が用意されています。ディスクに書き込む、作品をディスク イメージに保存してからディスクに書き込む、ハードディスクに DVD フォルダを作成して整理することもできます。書き込みドライ ブやディスクタイプに応じて、同時に複数のオプションを利用する こともできます。

CyberLink PowerDirector では以下のディスク形式でディスク書込みに 対応しています。

- **DVD:** DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW
- VCD/SVCD: CD-R、CD-RW
- ・ ブルーレイディスク (Ultra バージョンのみ): BD-RE、BD-R
- 注: 書込み用ディスク形式の選択に関する詳細は、108 ページの「ディス ク作成環境の設定」を参照してください。

ムービーをディスクに書込む

ディスクへの書き込みは、ディスク作成の最終段階です。ディスク に書き込まれた映像作品は、プレイヤーで再生したり、共有したり できるようになります。[書き込み]をクリックして書込み処理を開 始します。

注: 書き込み処理には数分かかります。ビデオの長さや画質およびコン ピュータの処理能力により異なります。CyberLink PowerDirector がレ ンダリングをしていますのでしばらくお待ちください! 注: HDV カメラからキャプチャしたハイビジョンコンテンツは、DVD ディスクに書き込む際に標準画質 (SD) に変換されます。これは、 DVD では SD のみがサポートされているためです。HD 形式は、大容 量のブルーレイディスクが発売され次第、サポートを開始する予定 です。

書き込み環境の設定

初めてディスクに書き込む場合は、[書き込み]ウィンドウで書き込み設定 する か設定 する を行います。この設定内容は、その後の CyberLink PowerDirector の書込み処理で使われます。設定は変更可能です。

DVD フォルダの作成

[DVD フォルダの作成]を選択すると、指定コンピュータにフォルダ を作成して書込みに必要なすべてのファイルを保存します。この フォルダは後でディスクに書き込むことができます。

注: DVD フォルダを作成すると、そのディレクトリ内の既存のデータを 上書きします。

ディスクの消去

再書き込み可能ディスクを使用する場合は、コンテンツを何度も消 去し、書き換えることができます。これにより、新しいディスクを 買わずに、同じディスクを何度も再利用できます。[消去] ンをクリックするとディスクのコンテンツを消去します。

ディスクの消去時には、次を選択できます。

- [クイック]オプションでは、ディスクに含まれるディスク・ インデックスを消去します。
- [フル]オプションでは、ディスクに含まれる内容をすべて消去します。

CyberLink PowerDirector

第6章:

付録

ここでは、デジタルムービーの制作や CyberLink PowerDirector の操作の際に 参考となる情報を掲載します。

この章は以下の内容を説明しています。

- 114ページの「ホットキー」
- ・ 122 ページの「SVRT: が適用される条件」
- ・ 123ページの「ライセンスと著作権」

ホットキー

CyberLink PowerDirector でホットキーを利用すると、操作がより簡単になります。以下のホットキー(機能別)が利用できます。

システムのホットキー

ホットキー	機能
Alt + スペース	左上隅に最小化したメニューを開く
Alt + F4	CyberLink PowerDirector を終了する

プロジェクトのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + N	新規プロジェクトの作成
Ctrl + O	既存のプロジェクトを開く
Alt + Enter	プロジェクトプロパティの表示
Ctrl + S	プロジェクトの保存
Ctrl + Shift + S	プロジェクトに名前を付けて保存
Ctrl + Shift + W	新規作業領域

作業領域のホットキー

ホットキー	機能
Tab	タイムライン / ストーリーボードの切り換 え
Home	クリップ / プロジェクトの開始位置に移動
End	クリップ / プロジェクトの終了位置に移動
Alt + 1	Magic Clean 機能を開く
Alt+2	Magic Motion 機能を開く
Alt+3	Magic Cut 機能を開く
Alt+4	Magic Fix 機能を開く
Alt+5	Magic Style 機能を開く
Alt+6	Magic Music 機能を開く
Alt+7	Magic Movie ウィザードを開く
Ctrl + 右矢印	トラック (クリップモード) で次のクリッ プに移動
Ctrl + 左矢印	トラック (クリップモード) で前のクリッ プに移動
Ctrl + C	コピー
Ctrl + X	切り取り
Ctrl + V	貼り付け
+	ルーラの拡大
-	ルーラの縮小

ホットキー	機能
Alt + L	マスタービデオトラック以外のすべてのト ラックをロックする
Alt + U	すべてのトラックのロックを解除する
Alt + C	環境設定を開く

メニューのホットキー

ホットキー	機能
Alt + F	[ファイル]メニューを開く
Alt + E	[編集] メニューを開く
Alt + V	[表示] メニューを開く
Alt + T	[キャプチャ] メニューを開く
Alt + P	[再生]メニューを開く
Alt + H	[ヘルプ] メニューを開く

スマートガイド ホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + Alt + T	[トリミング] オプションの表示
Ctrl + Alt + S	[速度]オプションの表示
Ctrl + Alt + C	[カラー] オプションの表示
Ctrl + Alt + M	[マルチカット]オプションの表示
F2	修正 (PiP)/ タイトル・デザイナ / 修正 (エフェ クト) の表示

メインパネルのホットキー

ホットキー	機能
F1	ヘルプ
Delete	選択項目の削除
Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + Y	やり直し
Shift + F12	ホットキーの一覧を表示する
Alt + F9	キャプチャモードに切り換える
Alt + F10	編集モードに切り換える
Alt + F11	出カモードに切り換える
Alt + F12	ディスク作成モードに切り換える

ライブラリのホットキー

ホットキー	機能
F3	[素材パレット]を開く
F4	[エフェクトパレット] を開く
F5	[PiP オブジェクトパレット]を開く
F6	[タイトルパレット] を開く
F7	[トランジションパレット] を開く
F8	[音量ミキシングパレット]を開く
F9	[吹き替え録音パレット]を開く
F10	[チャプター設定パレット] を開く
F11	[字幕パレット]を開く
Ctrl + Enter	[素材ビューア]で素材を表示
Ctrl + A	すべて選択
Ctrl + Tab	フィルタ間の切り換え
Ctrl + D	シーンの検出
Ctrl + Q	素材ファイルのインポート
Ctrl + W	素材フォルダのインポート

キャプチャのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + R	録画
Alt + R	録音開始
Ctrl + /	録音停止
スペース	DV の再生 / 一時停止
Ctrl+, (カンマ)	DV の巻戻し
Ctrl+.(ピリオド)	DV の早送り
Ctrl + /	DV の停止
Alt + Y	キャプチャしたビデオにテキストキャプ ションを追加

吹き替えホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + H	フェードイン
Ctrl + J	フェードアウト
Ctrl + R	録音開始
Ctrl + /	録音停止

プレビューウィンドウのホットキー

ホットキー	機能
スペース	再生 / 一時停止
Ctrl + /	停止
,(カンマ)	コマ戻し
.(ピリオド)	コマ送り
Page Up	クリップに切り換える
Page Down	ムービーに切り換える
Ctrl + F	早送り
[開始位置
]	終了位置
Ctrl + T	分割
Ctrl + G	タイムコードに移動
Ctrl + E	プリサイスパネルの表示 (有効化されてい る場合)
Ctrl + Enter	[素材ビューア] で素材を表示
Ctrl + P	プレビューウィンドウでコンテンツのス ナップショットを撮る
Ctrl + + (プラス)	音量を上げる
Ctrl + - (マイナス)	音量を下げる
Ctrl + Backspace	ミュート / ミュートオフ
Ctrl + U	システム音量の調整

タイトルデザイナのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + B	テキストを太字に設定
Ctrl + I	テキストを斜体に設定
Ctrl + I	テキストの左揃え
Ctrl + R	テキストの右揃え
Ctrl + E	テキストの中央揃え
Ctrl + T	TV の表示範囲の表示 / 非表示
Ctrl + G	グリットラインの表示 / 非表示

PiP デザイナのホットキー

ホットキー	機能
Ctrl + T	TV の表示範囲の表示 / 非表示
Ctrl + G	グリットラインの表示 / 非表示

SVRT: が適用される条件

SVRT は MPEG-1、MPEG-2、DV-AVI (Type I) 形式のビデオクリップに適用します。以下の適用条件を満たす場合に SVRT は適用されます。ただし、クリップ(またはクリップの一部)をレンダリングする必要はありません。

- フレームレート、フレームサイズ、およびファイル形式が出 カプロファイルと一致していること。
- ビットレートが出力プロファイルのビットレートに類似していること。
- TV 信号形式が出力プロファイルの TV 信号形式と一致していること。詳しくは、56ページの「ビデオクリップインターレース形式の設定」を参照してください。

上記の条件をすべて満たした場合のみ SVRT が使えます。上記の条件 を満たさないクリップは、SVRT を使用せずにクリップ全体がレンダ リングされます。

以下の条件では、アイテム(またはアイテムの一部)は再レンダリングする必要があるため、SVRT は適用できません。

- タイトルまたはトランジションを加える場合
- ・ ビデオクリップの色を修正する場合
- ・ 音声プロファイルが出力プロファイルと一致しない場合
- 2 つのビデオクリップを結合する場合(結合されたクリップの 前後2 秒以内のクリップがレンダリングされます)
- ビデオクリップを分割する場合(分割の前後2秒以内のクリップがレンダリングされます)
- ビデオクリップをトリミングする場合(トリミングされたア イテムの前後2秒以内のクリップがレンダリングされます)
- 作品の総表示時間が1分以内の場合で、ビデオにレンダリン グが必要な個所がある場合は、作品全体をレンダリングしま す。

ライセンスと著作権

ここには、Dolby Laboratories で使用する CyberLink PowerDirector の ライセンス契約および著作権情報のみ記載しています。その他のラ イセンス契約および著作権情報の一覧は、CyberLink PowerDirector Readme ファイルを参照してください。

Dolby Laboratories

Manufactured under license from Dolby Laboratories. "Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1992-1997 Dolby Laboratories. All rights reserved.



CyberLink PowerDirector

第7章:

テクニカルサポート

この章には、テクニカルサポートの情報を記載されています。ユーザーが回答を見つけるために役立つすべての情報が含まれています。現地の販売店 / ディーラーにお問い合わせによっても、素早く回答が得られます。

この章には、以下のセクションがあります。

- ・ 126ページの「テクニカルサポートにお問い合わせになる前に」
- 127 ページの「Web サポート」

テクニカルサポートにお問い 合わせになる前に

次のいずれかにより、CyberLinkの無料テクニカルサポートをご活用 ください。

- プログラムと共にインストールされたユーザーガイドまたは オンラインヘルプで調べる。
- CyberLink Web サイトのサポートセクションで FAQ(よく受け る質問)を参照する。

http://www.cyberlink.com/multi/support/product_faq_home.jsp

FAQにはユーザーガイドやオンラインヘルプよりも新しい情報やヒントが含まれている可能性があります。

テクニカルサポートに電子メールや電話でお問い合せる場合は、次の情報をご用意ください。

- 登録した アクティベーションキー(アクティベーションキー)
 は CD ケース、箱、または CyberLink ストアで PowerDirector を 購入した後で受け取った電子メールに明示されています。)
- 製品名、バージョンとビルド番号。これらは通常、ユーザー インターフェイスの製品名をクリックすると表示されます。
- ・ コンピュータにインストールしている Windows のバージョン。
- システムのハードウェアデバイス(キャプチャカード、サウンドカード、VGAカード)およびその仕様。
- 表示された警告メッセージの内容(書き留めるか、スクリーンショットをとります)。
- ・ 問題が発生した状況とその問題の詳細な説明。

Web サポート

問題に対する解決策は、次により CyberLinkの Web サイトで1日24時間、無料で入手できます。

注: CyberLink Web サポートをご使用になるには、初めにメンバーとして 登録する必要があります。

CyberLink は、次の言語による FAQ やユーザーコミュニティーフォー ラムなど豊富な Web だポートオプションを提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	http://www.cyberlink.com/CS/support/enu/ support_index.jsp
繁体字中国語	http://tw.cyberlink.com/CS/support/cht/ support_index.jsp
日本語	http://jp.cyberlink.com/jpn/support_jpn/ support_index.jsp
イタリア語	http://it.cyberlink.com/CS/support/ita/ support_index.jsp
ドイツ語	http://de.cyberlink.com/CS/support/deu/ support_index.jsp
フランス語	http://fr.cyberlink.com/CS/support/fra/ support_index.jsp
スペイン語	http://es.cyberlink.com/CS/support/esp/ support_index.jsp

CyberLink PowerDirector

索引

В

BGM ディスクメニュー 101 BGM トラック クリップの追加 46 詳細 38

C

CD トラックのリッピング 21 CD、キャプチャ 21 CyberLink VirtualSpeaker 109

D

DirectorZone テンプレートのダウンロード 14,100 概要 4 環境設定 30 Dolby Digital 108 Dolby Digital 5.1 109 DV カメラ、キャプチャ 18 テープ、に書き込む 92 パラメータ 29 DVD フォルダの作成 111 DVD、キャプチャ 21 DV バックアップ 19

Ε

EXIF 56

F

Flickr 12 Freesound 14

Η

HDV カメラ、キャプチャ 20 テープ、に書き込む 92

Μ

Magic Clean 59 Magic Cut 60 Magic Fix 60 Magic Motion 59 Magic Movie ウィザード 41, 59 Magic Music 61 Magic Style 60 Motion Designer 59

Ρ

PC カメラ、キャプチャ 20 PC カメラ、キャプチャ元 20 PiP エフェクト サイズの修正 63 シャドウ64 フレームの追加 64 モーションのカスタマイズ 65 モーションの修正 65 位置の修正 63 回転のカスタマイズ 65 共有 67 修正 63 速度 66 定義済みのモーション 65 透明度 64 保存 67 PiP エフェクトのフレーム 64 PiP エフェクトの透明度 64 PiP オブジェクト PiP トラックの追加 3, 38, 45 タイムラインに追加 48 ダウンロード 14 概要 35 修正 63 PiP デザイナー 63 PiP トラック オブジェクトの追加 48 詳細 38 素材の追加 45 追加 38

PowerDirector アップグレード 4 バージョン 4 プロジェクト 7 モード 6 環境設定 24

R

RichVideo 56

S

SVRT プロジェクトの表示 84 概要 122 SVRT 情報の更新 84

Т

Track Manager(トラックマネー ジャ)38 TV、キャプチャ20

あ

アップグレード 4 アップロード PiP テンプレート 67 タイトルテンプレート 71 ディスクメニューテンプレー ト 106 ビデオを YouTube に 94

い

インターレース形式、設定 56 インポート ファイル形式 12 ボタン 105 音声 14 字幕 80 写真 12 素材 12 背景画像 105

う

ウェブカメラ、キャプチャ 20

え

エフェクトトラック エフェクトの追加 47 詳細 38 エフェクトの修正 タイトル 67 ビデオ 62 エフェクト、概要 35

か

カラーボード、追加 46

き

キャプチャ

CD から 21 DVD から 21 DV デバイスから 18 HDV デバイスから 20 PC カメラから 20 TV から 20 Web カメラから 20 オプション 17 シーン 18 デジタル TV から 20 マイクから21 モード 16 概要15 環境設定 28 制限オプション 17 キャプチャのサイズ制限 17 キャプチャの時間制限17

<

クイック消去 111 クリップの分割 53 クロマキー効果 64

し

シーンの検出 22 シーン検出、ビデオクリップ 22 システム動作環境 9 シャドウ PiP エフェクト 64 タイトルエフェクト 69 メニューのテキスト 103

す

スケール、変更 39 ストーリーボード 40 スナップショット デフォルトの保存先 25 デフォルトファイル名 25 スマートフィット 108 スライドショー デザイナー 42 詳細設定 44 スライドショーの作成 42 スローモーション 55

た

タイトルエフェクト アニメーション 69.71 シャドウ69 タイムラインに追加 49 ダウンロード 14 フォントの修正 69 概要35 共有 71 速度 70 保存 71 タイトルトラック タイトルの追加 49 詳細 38 タイムコード 17,56 タイムライン PiP オブジェクトの追加 48 ズーム 40 タイトルエフェクトの追加 49 トラックのロック 39

トラックのロック解除 39 トラックの非表示 39 トランジションエフェクトの 追加 49 ビデオエフェクトの追加 47 概要 37 合わせる 39 素材の追加 41 表示 37 タイムラインに合わせる 39 ダウンロード PiP テンプレート 14 タイトルテンプレート 14 ディスクメニューテンプレー ト 100 音声 14 写真 12 素材 12

ち

チャプター サムネイルの設定 78 概要 36 設定 77 チャプターサムネイルの設定 78 チャプターの設定 77

て

ディスクの消去 111 ディスクメニュー BGM の追加 101 カスタマイズ 100 ダウンロード 100

テキストシャドウ103 テキストの変更103 テンプレートのスタイル 99 ナビゲーションボタン 105 ビデオエフェクト 105 ビデオサムネイル 108 プレビュー107 ページ別ボタン 100 ボタンのエフェクト 104 ボタンハイライト 105 ボタンフレーム 105 ボタンレイアウト 105 メニューデザイナー 102 概要 98 環境設定 108 共有 106 最初に再生するビデオ 101 自動タイムアウト 109 保存 106 ディスク作成 BGM の追加 101 カスタマイズ 100 テキストの変更103 プレビュー107 メニューデザイナー 102 概要 98 環境設定 108 新機能3 テキスト注釈 17,56

デジタル TV、キャプチャ 20 デフォルトの録画時間、設定 27

と

トラック ロック 39 ロック解除 39 管理 38 詳細 38 非表示 39 トラックのロック解除 39 トラック内の音声ミキシング(調 整)73 トランジションエフェクト タイムラインに追加 49 ランダムに追加する 50 トランジション、概要 35 トリミング、音声とビデオクリッ プ 53

な

ナビゲーションボタン 105 ナレーション、録音 75

は

バッチ出力 95 バンドル(OEM)バージョン 4

ひ

ビデオ Magic Fix 60 Magic Style 60 オーバーレイ 28 ディスク画質 108 トリミング 53 プレビュー 51 メニューサムネイル 108

音声の分離 72 作業領域に追加45 設定 88 速度 55 分割 53 ビデオエフェクト クリップ全体に追加48 タイムラインに追加 47 ディスクメニュー 105 修正 62 ビデオクリップ シーンの検出 22 音声の読み込み23 ビデオトラック カラーボードの追加 46 トランジションの追加 49 詳細 38 素材の追加 45

ふ

ファイル環境設定 24 ファイル形式 12 フェードアウト 74 フェードイン 74 フル消去 111 フレーム固定 56 プレビュー ウィンドウ 51 ディスクメニュー 107 作品 51

ほ

ボタン エフェクト設定 104 ナビゲーション 105 ハイライトスタイル 105 フレームスタイル 105 ページ別 100 レイアウト 105 ホットキー 114

ま

マイク、キャプチャ21

み

ミキシング トラック内 73 音声 73 ミュート トラック全体 55 音声トラック 55

め

メニューデザイナー テキストシャドウ 103 テキストの変更 103 ナビゲーションボタン 105 ビデオエフェクト 105 ボタンのエフェクト 104 ボタンハイライト 105 ボタンフレーム 105 ボタンレイアウト 105
概要 102

も

モーション PiP の、修正 65 画像クリップに追加 59

6

ライブラリ クリップのシーン検出 22 概要 34 管理 2, 34 新機能 2 ライブラリの管理 2, 34

る

ルーラの変更 39

その他

音声 Magic Music 61 クリップを作業領域に追加 46 タイプ 108 トラック内の音声ミキシング 73 トリミング 53 ビデオから分離 72 ミキサー 73 ミキシングパレット 36 レベル変更 72

音量の復旧75 吹き替えの録音 75 音声トラック 音声の追加 46 詳細 38 音声のミキシング 73 音声の読み込み 23 音声ミキサー 73 音量 キーの追加 73 トラック内での変更 73 音量レベルの復旧75 画質 キャプチャ17 ディスク108 出力ビデオ 88 確認メッセージの環境設定28 環境設定 24 ディスクメニュー 108 共有 PiP テンプレート 67 YouTube のビデオ 94 タイトルテンプレート 71 ディスクメニューテンプレー ト 106 元に戻す回数、設定26 言語、変更 26 高速モーション 55 最初に再生するビデオ 101 最新機能2 作業領域 エフェクトを追加 47 クリップの追加 45 ストーリーボード表示 40 タイトルを追加 47

タイムライン表示 37 トランジションを追加 47 作成手順8 字墓 インポート 80 概要 36 追加 79 同期80 編集 80 時間情報 56 自動メニュータイムアウト 109 写直 Magic Fix 60 作業領域に追加45 縦横比 設定 32 調整 57 出力 83 DV テープに書き込む 92 HDD ビデオカメラへの書き込 t: 93 HDV テープへの書き込み 92 YouTube にアップロード 94 ストリーミングビデオファイ ル91 ビデオファイル 89 ムービー 83 環境設定 30 新機能3 複数プロジェクト 95 出力する 88 書き込み DVD フォルダの作成 111 概要110 設定 111

書き込み先 DV テープ 92 HDD ビデオカメラ 93 HDV テープ 92 吹き替えの録音 75 吹き替え録音パレット 36 制作 概要 85 設定 17,88 デフォルトの録画時間27 元に戻す回数 26 全般環境設定 25 素材パレット 34 素材ビューア 52 速度 PiP エフェクト 66 タイトルエフェクト 70 ビデオクリップ 55 対応ディスク形式 110 対応ファイル形式 12 編集 環境設定 27 新機能2 保存 PiP テンプレート 67 PiP モーションパス 67 タイトルテンプレート 71 ディスクメニューテンプレー ト 106 プリセット文字 71 録画時間 キャプチャ 17 デフォルト 27 録画日 17.56